

2025年3月期第3四半期決算説明会

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 (東証プライム市場:4765)



2025年1月30日
代表取締役社長 朝倉 智也

連結決算の概要

2025年3月期第3四半期の連結数値

売上高と全ての利益項目で過去最高を更新
 売上高は13期連続の増収、経常利益は16期連続の増益

(単位:百万円)

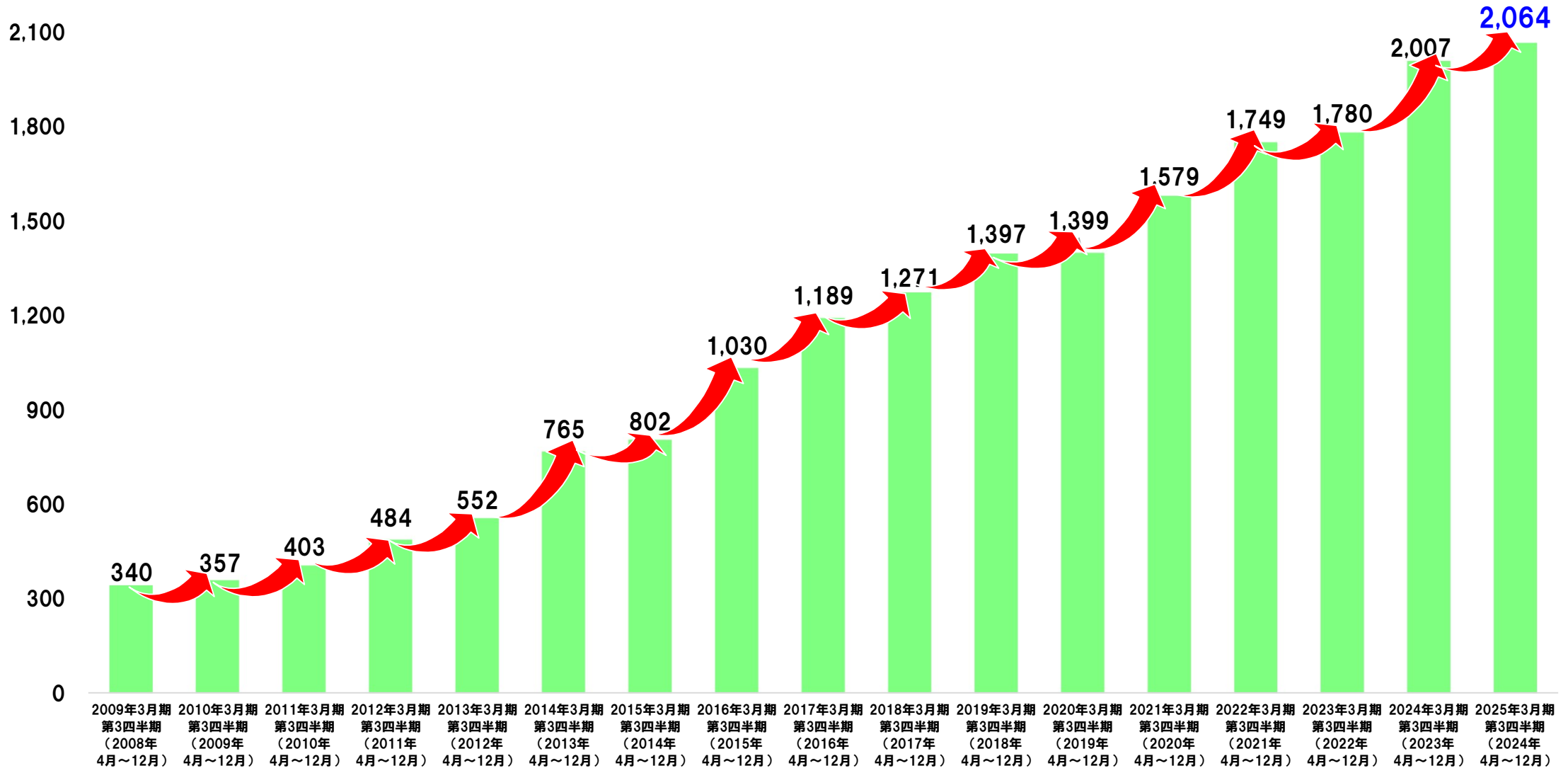
	2024年3月期 第3四半期 (2023年4月～12月)	2025年3月期 第3四半期 (2024年4月～12月)	増減率 (%)
売上高	7,576	過去最高 8,652	14.2
営業利益	1,670	過去最高 1,808	8.3
経常利益	2,007	過去最高 2,064	2.8
当期利益	1,258	過去最高 1,300	3.3

※ 当期利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を意味する。

連結経常利益の推移




16期連続の増益、13期連続の過去最高益を更新

(単位:百万円)



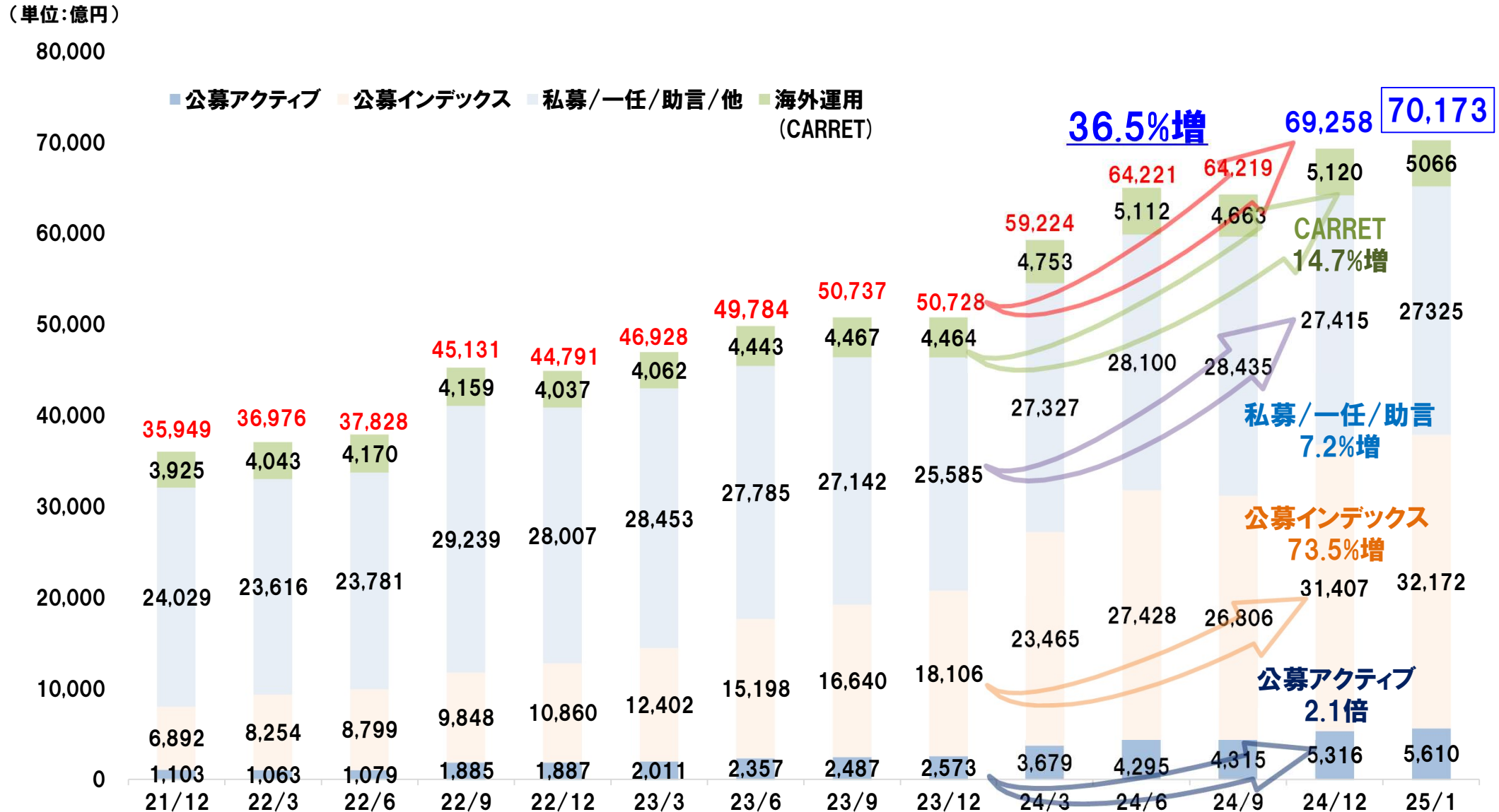
主要なサービス別の売上高の増減

(単位:百万円)

事業/サービス		2024年3月期 第3四半期 (2023年4月～12月)	2025年3月期 第3四半期 (2024年4月～12月)	増減率 (%)
 アセットマネジメント事業	SBIアセットマネジメント	4,904	5,829	18.9
	 米国NY CARRET Asset Management	1,138	1,383	21.5
ファイナンシャル・ サービス事業 (ウエルスアドバイザー)	タブレット端末向けのデータ	493	498	1.0
	スマートフォン、PC向けのデータ	719	521	-27.5
	データ・ソリューション	1,218	1,019	-16.3
	 メディア・ソリューション	314	420	33.8

当社グループの運用残高の推移

運用残高は3年で倍増し、7兆円を突破

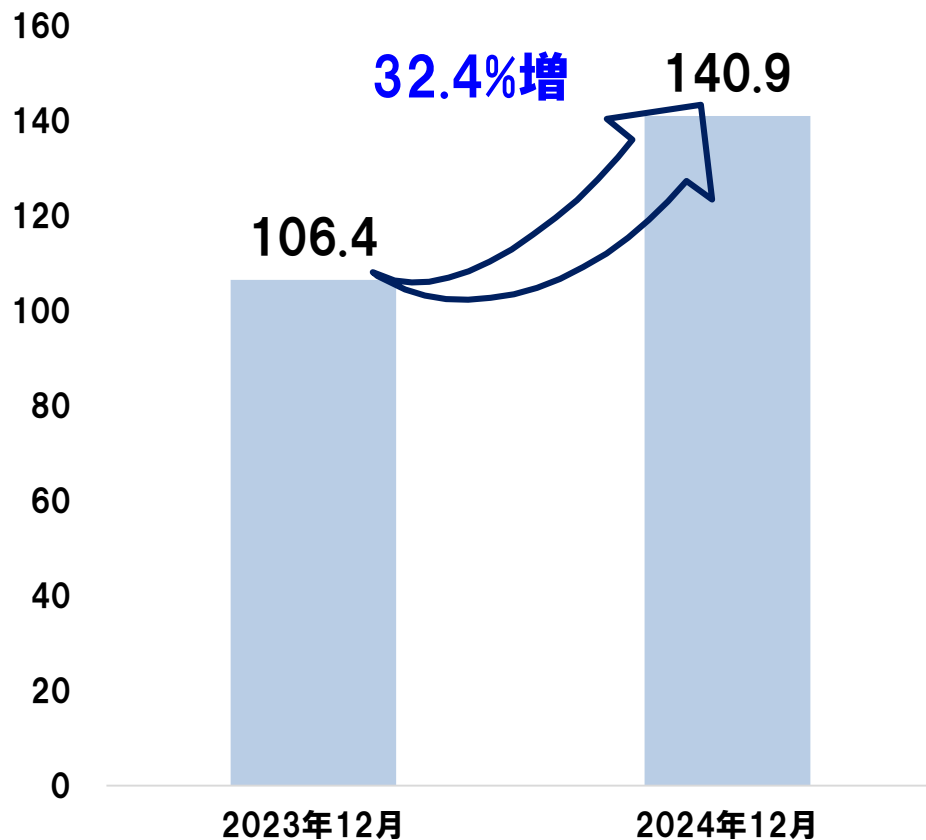


※ 2025年1月は、1月23日時点

投信業界全体とSBIアセットマネジメントの 公募投信の運用残高の伸び

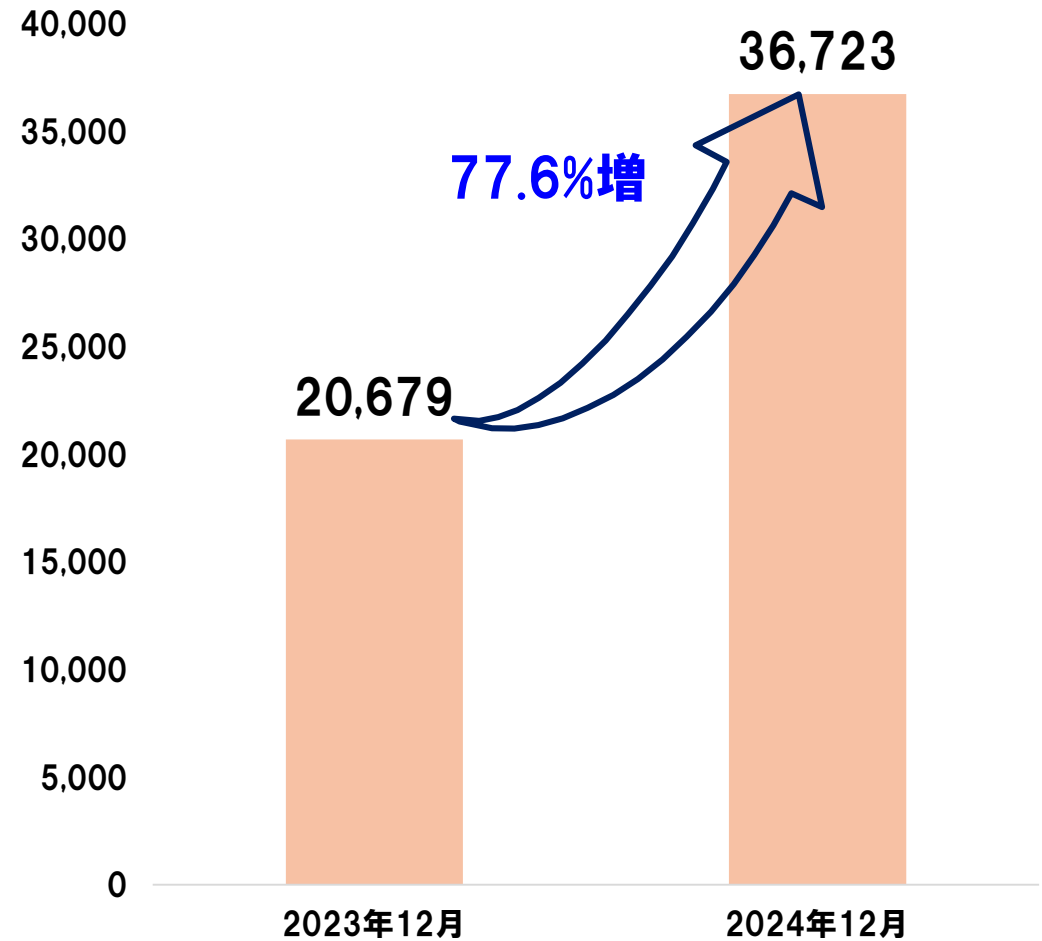
＜投資信託合計＞
公募追加型株式投信（除くETF）

（単位：兆円）



＜SBIアセットマネジメントの
公募投信の運用残高＞

（単位：億円）

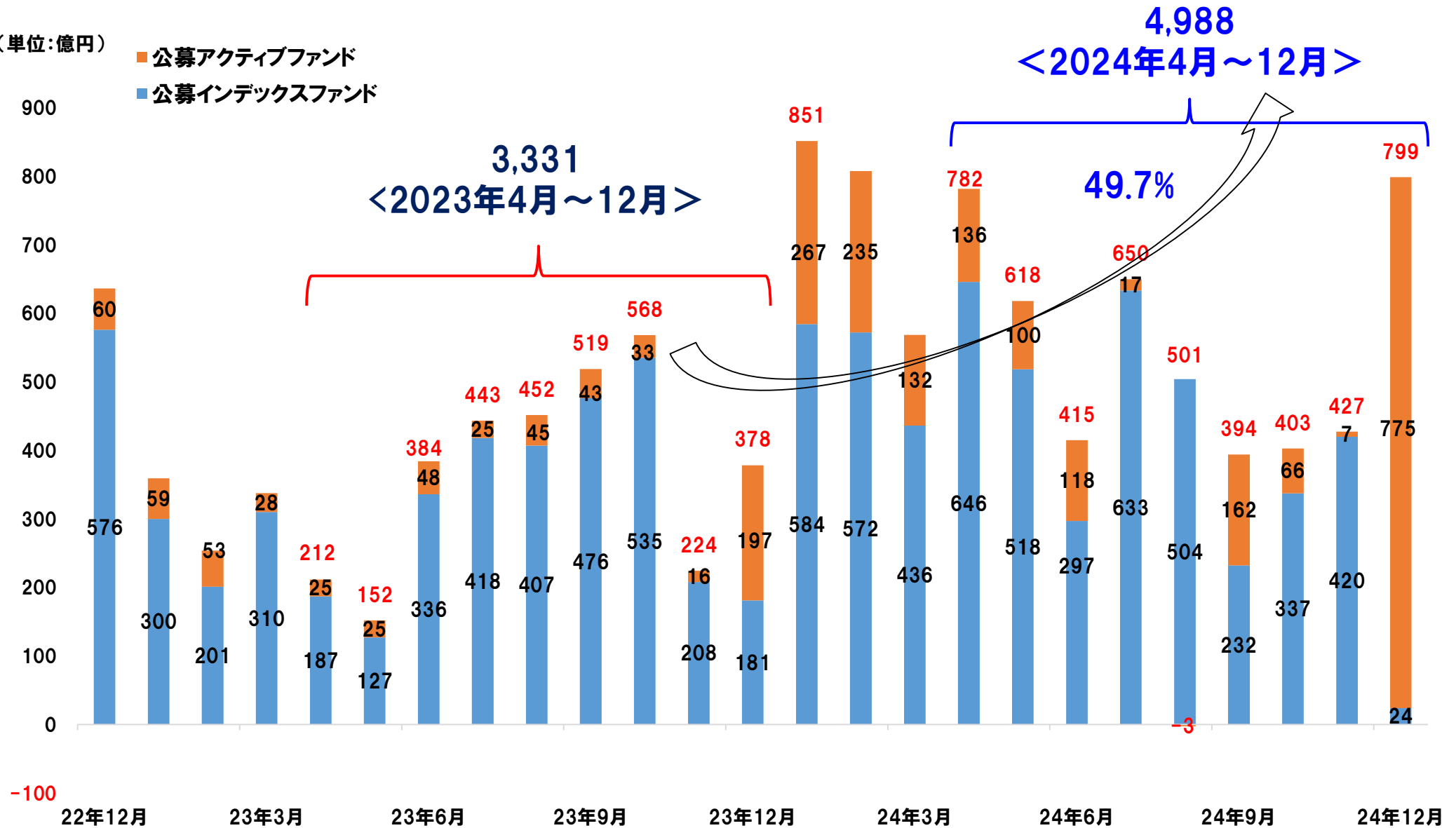


SBIアセットマネジメントの公募投信の純資金流入額

前年同期比で約50%増加

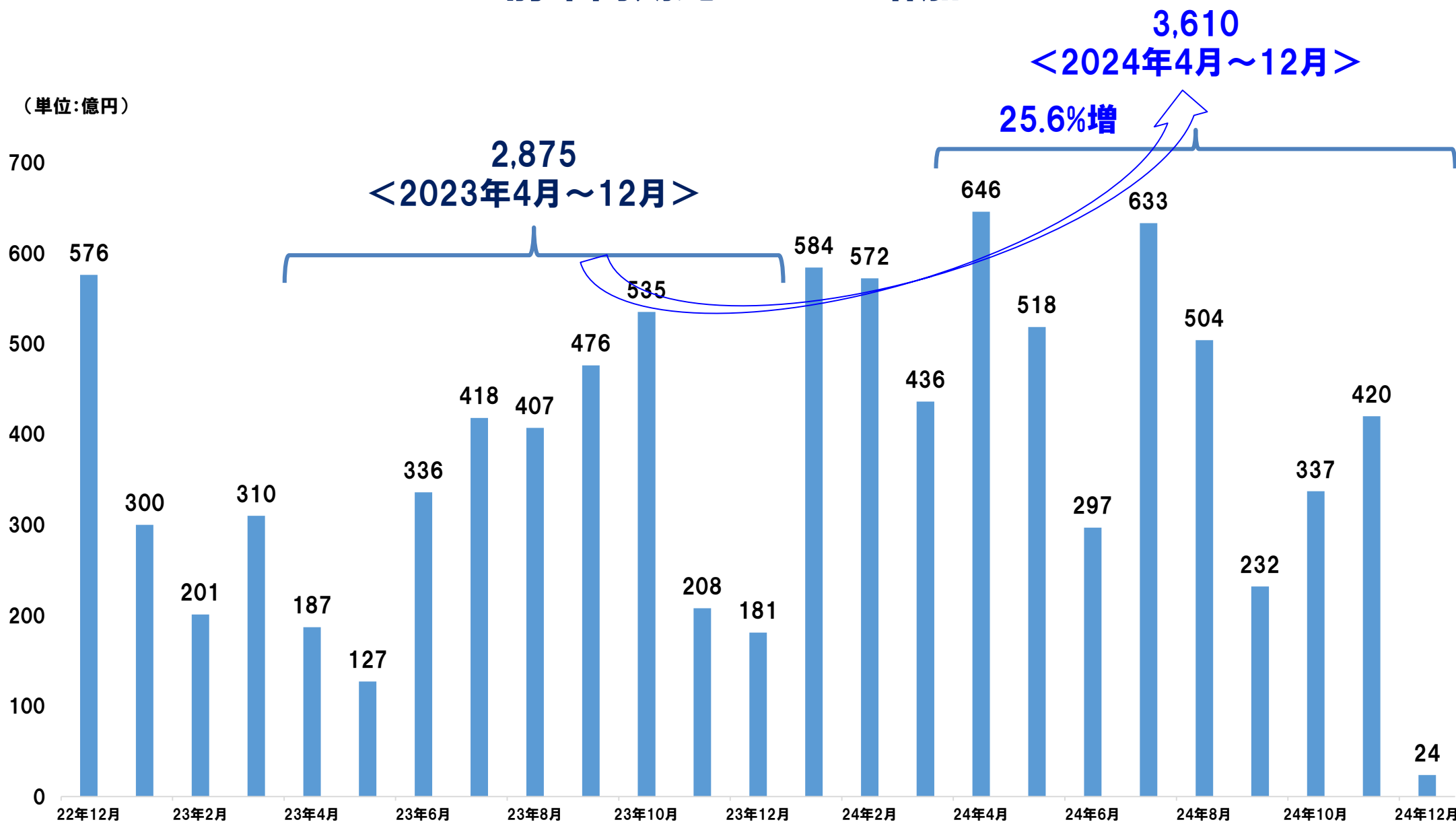
(単位:億円)

- 公募アクティブファンド
- 公募インデックスファンド



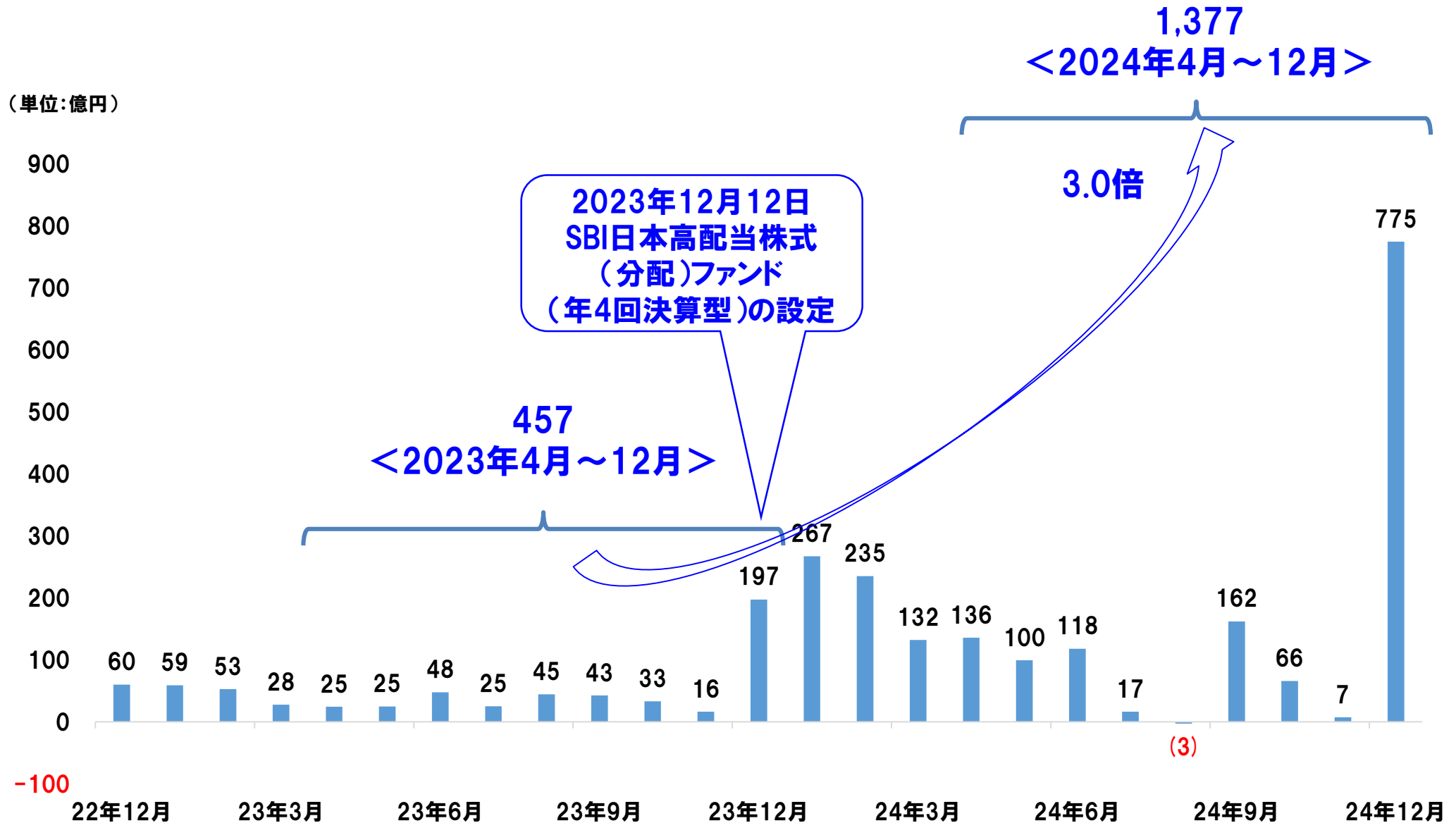
インデックスファンドの純資金流入額の推移

前年同期比で25.6%増加



アクティブファンドの純資金流入額の推移

前年同期比で3倍の増加



日本初のサウジアラビア株式ETFの上場



SBI サウジアラビア株式上場投信 (東証取引コード:273A)

<MSCI サウジアラビア・インデックス(円換算ベース)>

運用管理費:0.1925%(税込)

上場日:2024年10月31日

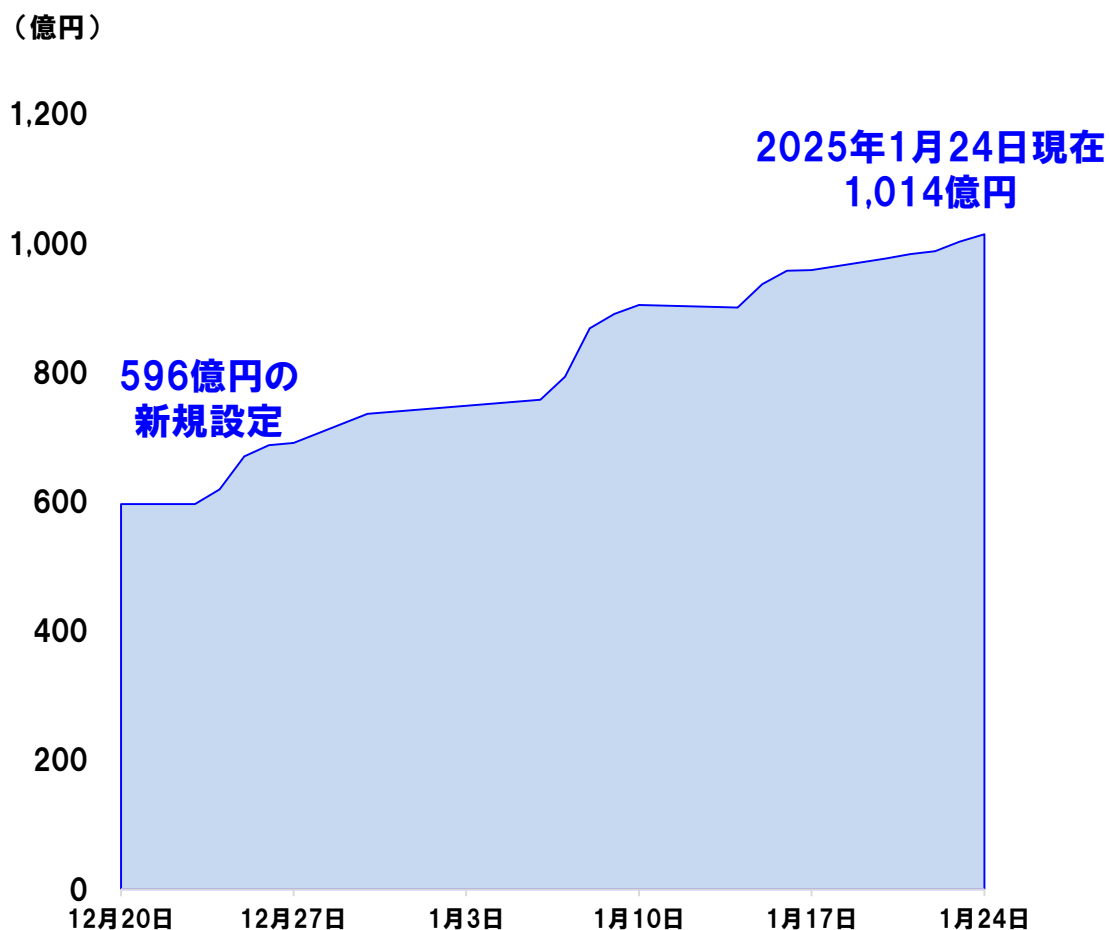
純資産残高:30.9億円
(2025年1月23日現在)

	SBIサウジアラビア株式上場投信 (273A)	One ETF FTSE・サウジアラビア・インデックス (295A)
ベンチマーク	MSCIサウジアラビア・インデックス	FTSEサウジアラビア・インデックス
上場日	2024年10月31日	2024年12月12日
実質的信託報酬率 (年率/税込み)	0.1925%	0.319%

『SBI・S・米国高配当株式ファンド(年4回決算型)』は 設定後20営業日で運用残高1,000億円突破

＜当初募集額:596億円＞ 設定日:2024年12月20日

- 2024年に設定された全公募追加型株式投資信託の中で第2位
- ネット販社専用ファンドとしては過去最大



投資対象ETF	シュワブ・米国配当株式ETF (SCHD)
信託報酬(税込)	年率 0.1238%
決算月	3月、6月、9月、12月

2024年の新規設定ファンドの当初募集額のランキング

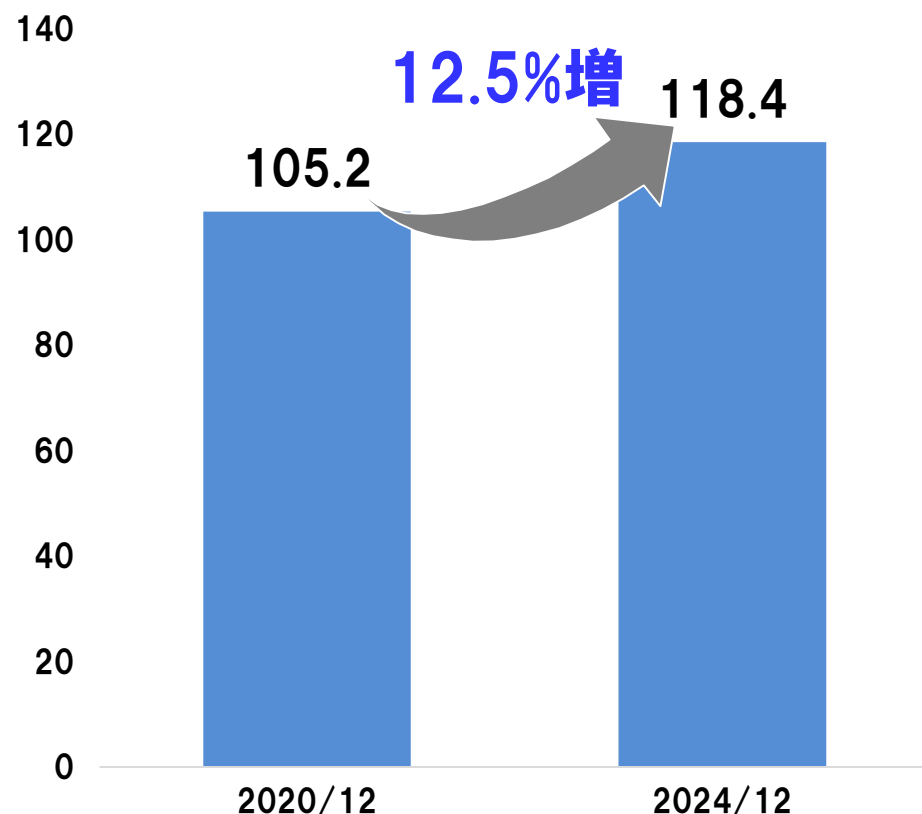
順位	運用会社名	ファンド名	設定日	設定額 (億円)	販売 手数料	信託報酬	販売会社
1	フィデリティ投信	フィデリティ・新興国中小型成長株投信	2024/04/24	770.5	3.00%	1.6400%	野村證券
2	SBIアセットマネジメント	SBI・S・米国高配当株式ファンド (年4回決算型)	2024/12/20	596.1	0%	0.1238%	SBI証券
3	三井住友DSアセットマネジメント	ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド (為替ヘッジなし)	2024/10/28	531.8	3.00%	1.6300%	SMBC日興証券
4	三井住友DSアセットマネジメント	三井住友DS ワールド・ボンド・フォーカス 2024-05(限定追加型)	2024/05/17	479.4	0.50%	0.6750%	SMBC日興証券、三井住友銀行
5	野村アセットマネジメント	野村日本新鋭成長株ファンド	2024/09/02	477.0	3.00%	1.4800%	野村證券
6	アセットマネジメントOne	グローバル・オポチュニティ・パートナーズ・ ファンド	2024/09/30	311.6	3.00%	1.0300%	みずほ証券
7	あおぞら投信	あおぞら・新グローバル分散ファンド (限定追加型)2024-07	2024/07/31	220.3	2.50%	1.0000%	大和証券、あおぞら銀行 他37社
8	アムンディ・ジャパン	インド小型厳選株式ファンド	2024/03/18	215.7	3.00%	1.6800%	SMBC日興証券
9	アセットマネジメントOne	みずほサステナブルファンドシリーズ LO・サーキュラー・エコノミー	2024/04/30	190.4	3.00%	1.5800%	みずほ証券
10	フィデリティ投信	フィデリティ・日本割安成長株投信	2024/01/19	159.8	3.00%	1.4150%	大和証券、大垣共立銀行

欧米金利が高止まりする厳しい局面でも SBIアセットの受託する私募投信残高は拡大

<2020年12月末～2024年12月末>

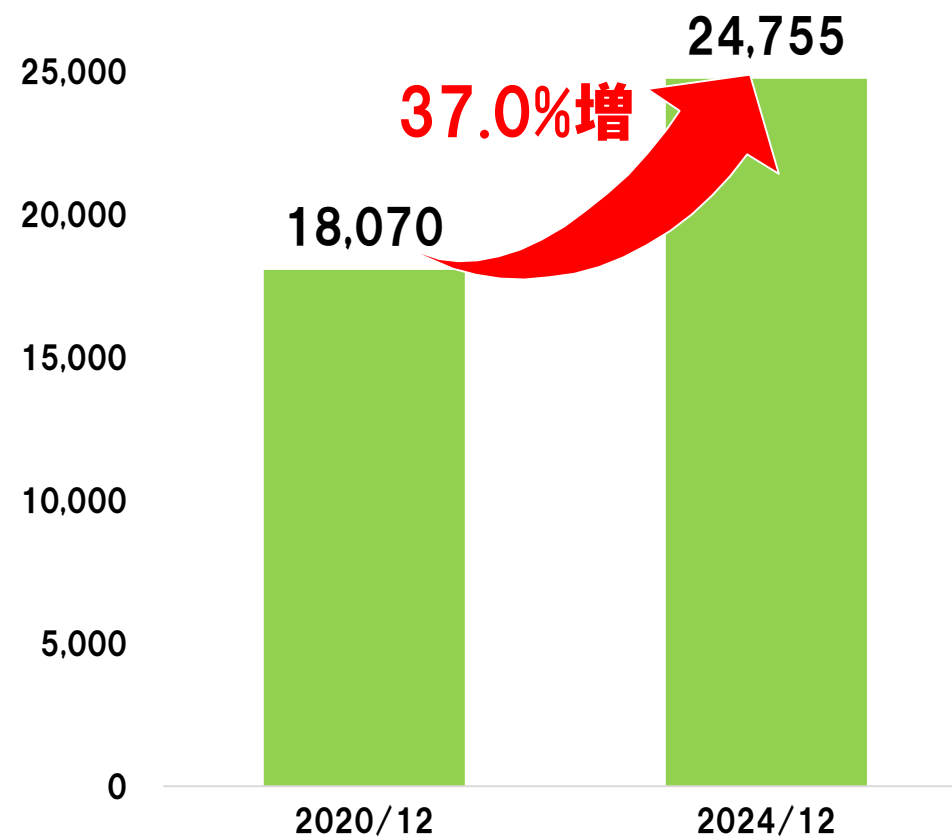
<投信業界全体の私募投信残高>

(単位:兆円)



<SBIアセットの私募投信の運用残高>

(単位:億円)



出所:「投信業界全体の私募投信残高」は投資信託協会

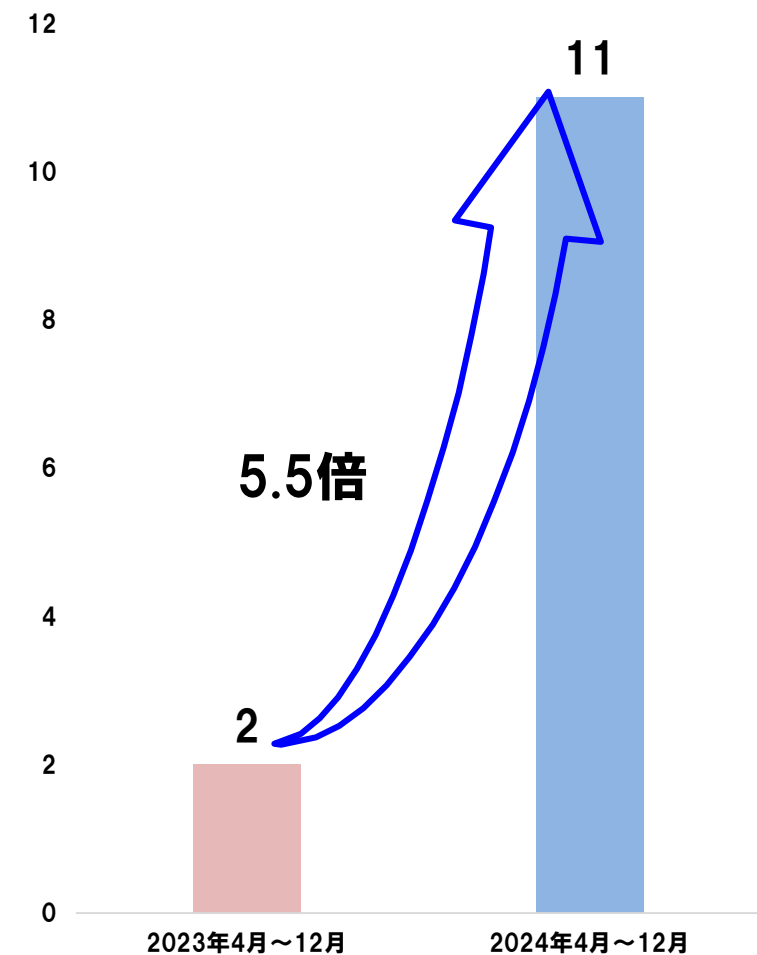
※ SBIアセットの私募投信の運用残高は機関投資家向けの一任運用残高も含む。2023年4月の新生インベストメントとの合併を含む。

「資産運用フェア」の開催数は大幅に拡大

開催数の増加により協賛会社数・参加人数も大幅に増加

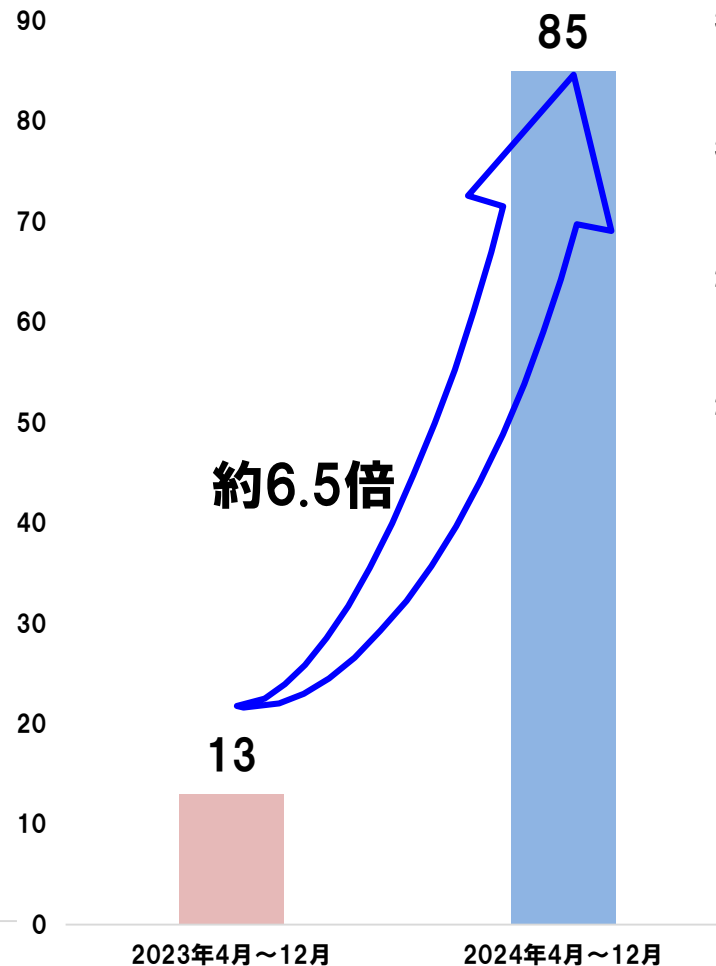
(単位:回)

開催数



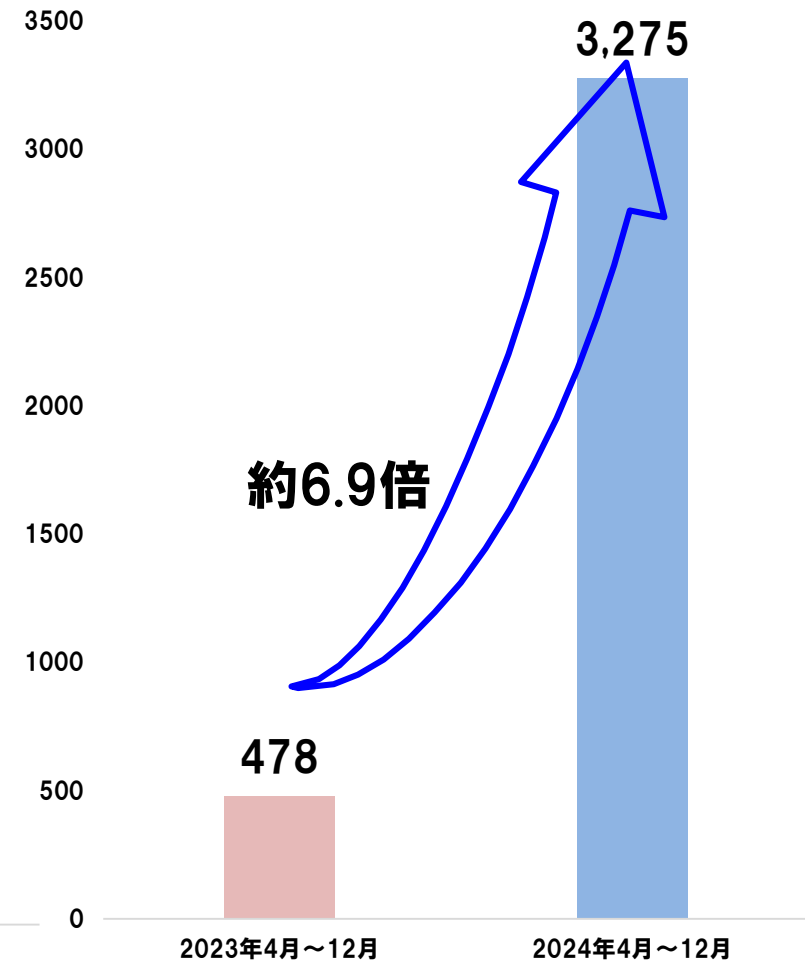
(単位:社)

協賛会社数



(単位:人)

参加人数



全国に拡大する「資産運用フェア」

年	月日	主催企業	参加者	場所
2023年	2/24(金)	三井住友銀行(富裕層向け)	99名	千代田区
	3/21(土)	ふくおかフィナンシャルグループ	549名	福岡市
	9/30(土)	足利銀行	352名	宇都宮市
	11/11(土)	京都銀行/京銀証券	126名	京都市
	11/18(土)	三井住友フィナンシャルグループ	724名	港区
2024年	1/27(土)	ふくおかフィナンシャルグループ	457名	福岡市
	2/18(日)	横浜銀行/神奈川銀行/浜銀TT証券	389名	横浜市
	4/6(土)	肥後銀行/九州FG証券	234名	熊本市
	4/14(日)	北洋銀行/北洋証券	253名	札幌市
	4/20(土)	千葉銀行/ちばぎん証券	329名	千葉市
	5/19(日)	百五銀行/百五証券	165名	四日市市
	6/29(土)	大垣共立銀行	333名	名古屋市
	7/15(祝・月)	足利銀行	404名	宇都宮市
	8/3(土)	愛媛銀行	173名	松山市
	9/7(土)	四国銀行/大和証券	174名	高知市
	9/14(土)	広島銀行	153名	広島市
	9/21(土)	滋賀銀行	149名	草津市
	12/22(日)	三井住友フィナンシャルグループ	850名	千代田区



2025年も引き続き全国で資産運用フェアを実施

<2025年3月までの開催予定地域>

2025/2/11(祝・火)
【東京】ゆうちょ銀行



2025/2/11(祝・火)
【岐阜】十六銀行



2025/2/15(土)
【山梨】山梨中央銀行



2025/2/22(土)
【埼玉】武蔵野銀行



2025/3/1(土)
【神奈川】横浜銀行



2025/3/1(土)
SBI証券セミナーの参加



2025/3/20(土)
【香川】百十四銀行



2025/3/22(土)
【福岡】ふくおかFG



当社の持続的成長に向けた競争戦略

～ SBIグループ全体の運用残高20兆円達成に向けて ～

SBIグループ全体で 2027年度中の運用資産残高20兆円を目指す


(SBIグローバルアセットマネジメント)

<インデックス&マルチアセット> <米国債券>

 
(SBIアセットマネジメント)

<投資助言>


(ウエルスアドバイザー)

**AUM
7兆円突破**

<アクティブ>





**AUM
約3.2兆円**
(2024年12月末)

プライベートエクイティ等

オルタナティブ投資


<M&A(予定)>
AUM増を目指したM&A

投信業界全体における SBIグループの純資産残高はTOP10入り

投信会社の純資産残高ランキング

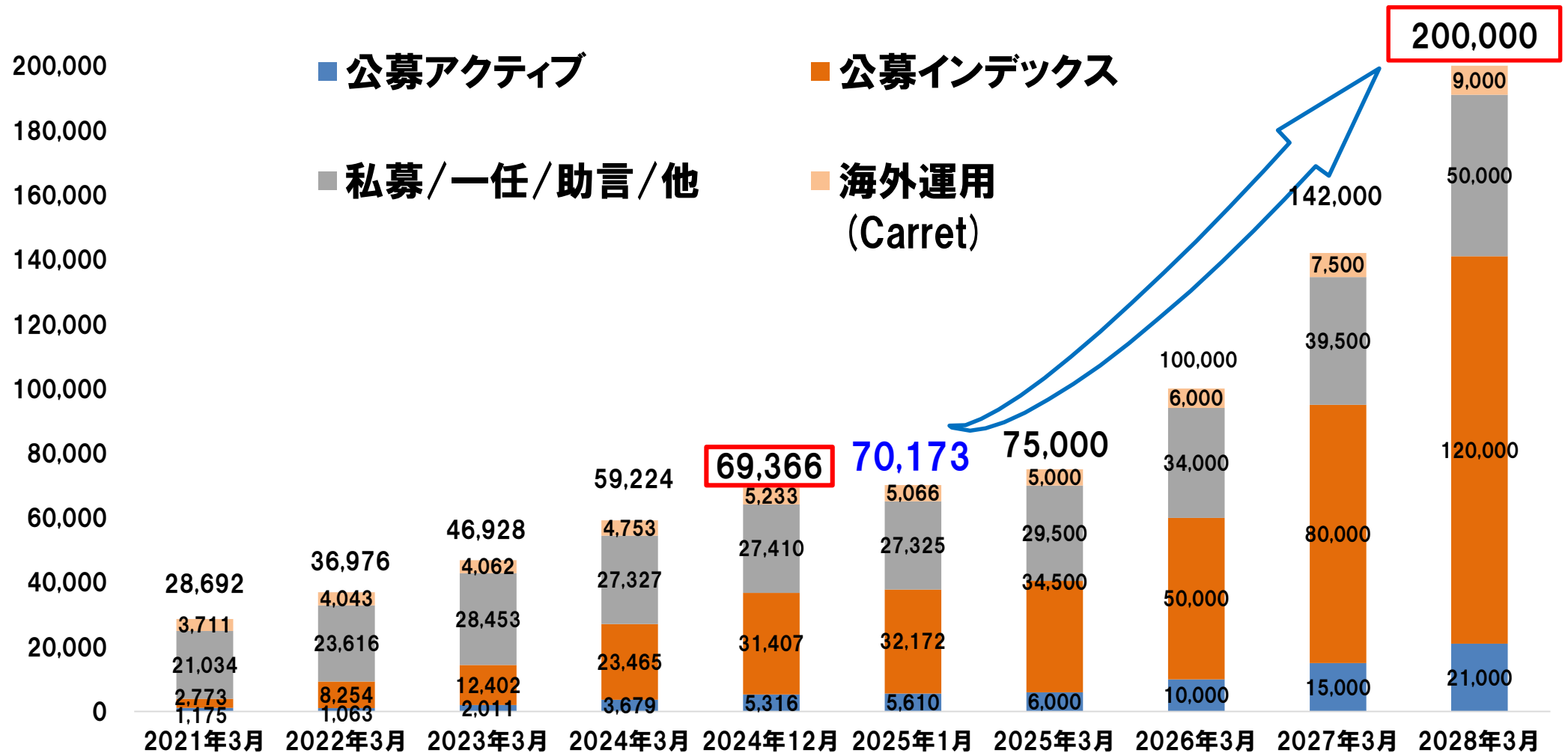
(単位:億円)

順位	運用会社	純資産残高
1	野村アセットマネジメント株式会社	649,727
2	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	423,642
3	大和アセットマネジメント株式会社	326,179
4	日興アセットマネジメント株式会社	310,893
5	アセットマネジメントOne株式会社	200,365
6	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	162,115
7	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	147,702
8	ブラックロック・ジャパン株式会社	137,309
9	ニッセイアセットマネジメント株式会社	96,964
	SBIグループ	95,824
10	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社	85,947
14	SBIアセットマネジメント株式会社	64,098
27	SBI岡三アセットマネジメント株式会社	18,081
29	SBレオスひふみ株式会社	13,645



SBIGAMの運用残高は、2026年3月末迄に10兆円、 2028年3月末迄に20兆円突破を目指す

(単位:億円)

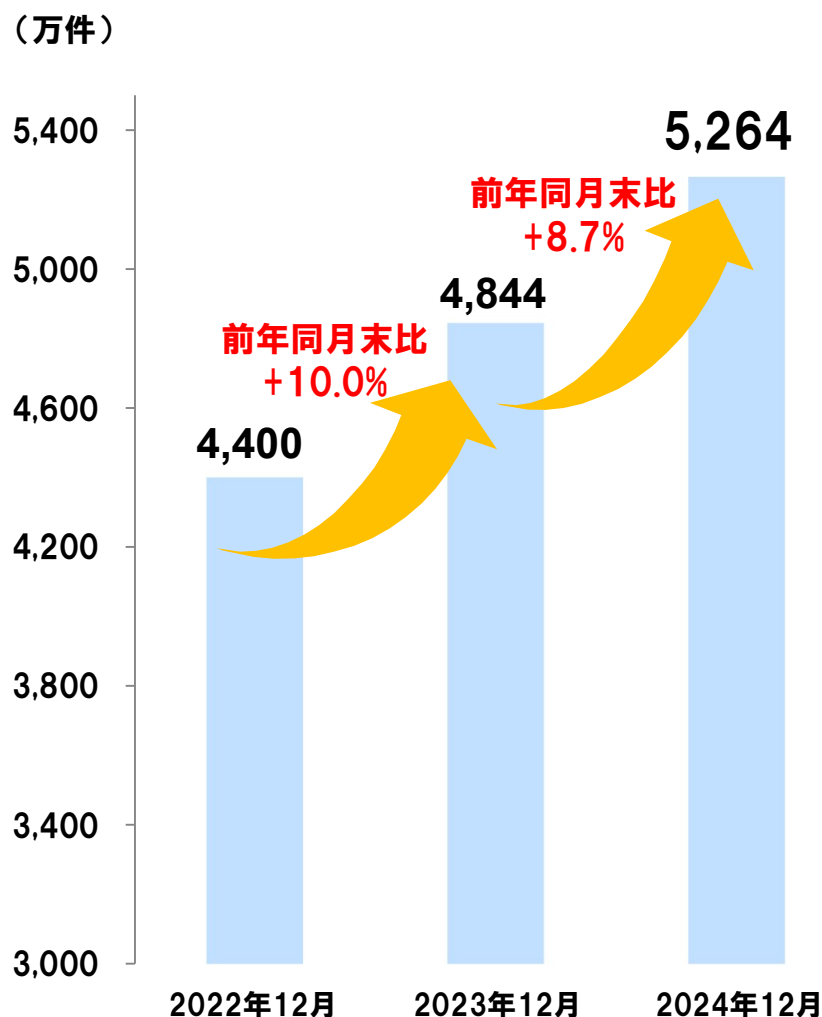


- 2027年度 -

圧倒的な顧客基盤を有するSBIグループの スケールメリットを活かした低コスト運用

良質かつ低コストのインデックス&アクティブ商品に加え、
ETFの積極的な提供

SBIグループは5,200万件の顧客基盤を有する



顧客基盤の内訳(2024年12月末)^{※1,2} (単位:万)

SBI証券、 SBIネオトレード証券、 及びFOLIO	(口座数)	1,366
SBIHD インズウェブ	(保有顧客数)	1,130
イー・ローン	(保有顧客数)	374
MoneyLook(マネールック)	(導入社数)	49
ウェルズアドバイザー	(利用者数) ^{※3}	135
住信SBIネット銀行	(口座数)	797
SBI損保	(保有契約件数)	131
SBI生命	(保有契約件数) ^{※4}	59
SBI新生銀行 ^{※6}	(口座数)	366
レイク事業 ^{※6}	(顧客数)	84
アプラス ^{※6}	(有効カード会員数)	363
昭和リース ^{※6}	(契約件数)	31
その他(SBI VCTレード等) ^{※5}		379
合計	—	5,264

※1 各サービスサイト内で同一顧客として特定されない場合、及びグループ企業間において顧客が重複している場合はダブルカウント

※2 組織再編に伴ってグループ外となった会社の顧客数は、過去の数値においても除外

※3 ウェルズアドバイザーが提供するスマートフォンアプリのダウンロード数

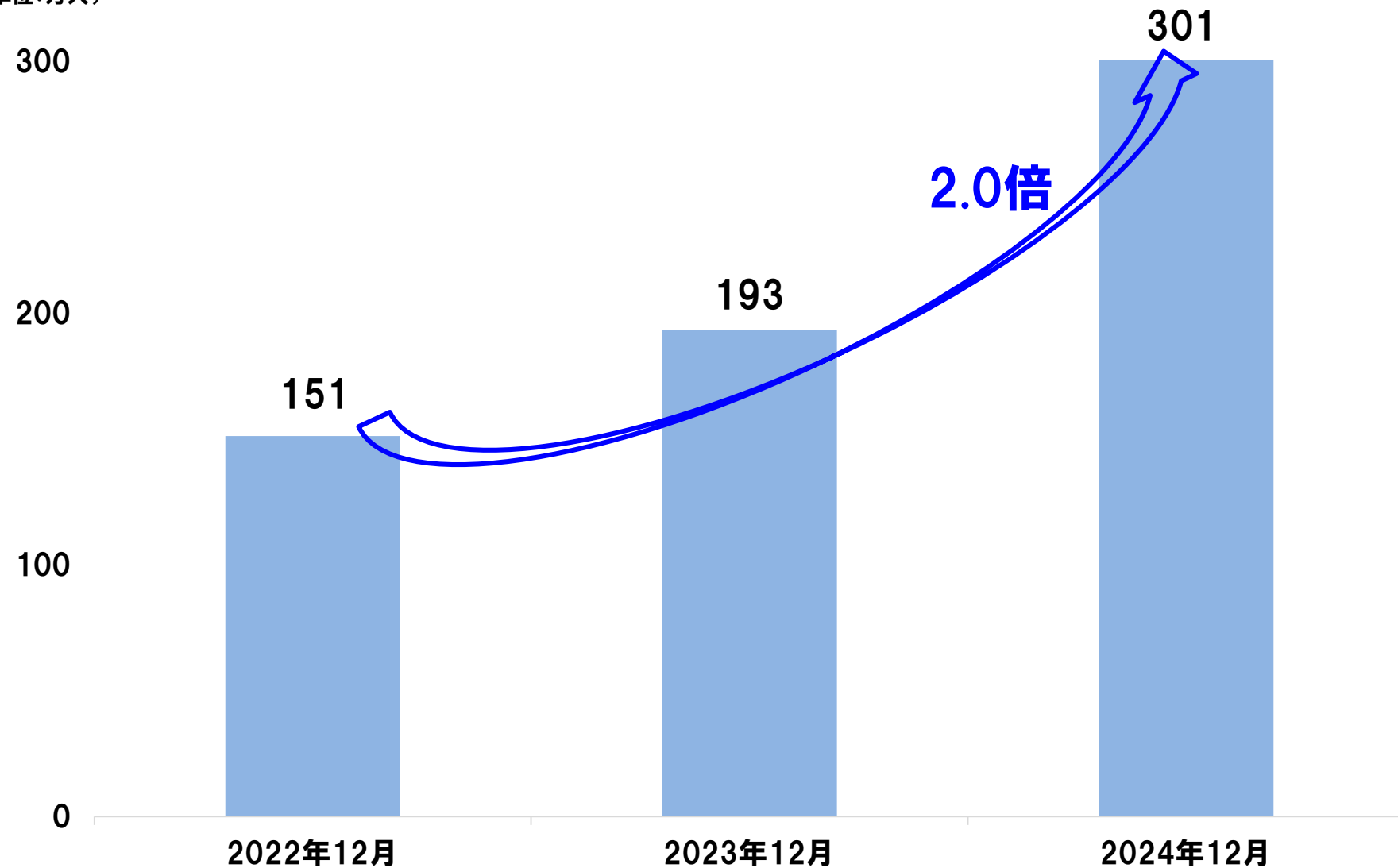
※4 SBI生命の保有契約件数には、団体信用生命保険の被保険者数を含む

※5 SBI iD会員のお客様向けにご提供してきた「SBIポイント」はサービスの終了に伴い顧客基盤から削除

※6 SBI新生銀行グループ(SBI新生銀行、レイク事業、アプラス、昭和リース)は2024年9月末の数値

SBIアセットマネジメントの公募投信の受益者数は 2年で倍増し、300万人突破

(単位:万人)



ウェルズアドバイザー(旧モーニングスター)が築いてきた 地域金融機関との幅広いネットワーク

「対面販売支援」

Wealth Advisor



(対面)ライフプラン
シミュレーション



「オンライン販売支援」

ライフプラン
シミュレーション



ロボ
アドバイザー



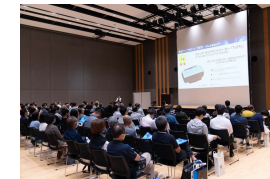
相続
シミュレーション



その他多数のコンテンツ

「資産運用イベント」

セミナー



ブース



対面orオンライン

地域金融機関における導入状況

- ・地方銀行 73行
- ・地銀系列/地場証券 13社
- ・信用金庫 54社
- ・労働金庫 14社
- ・信組/労組 2組合

合計:156社
(全526社に提供)

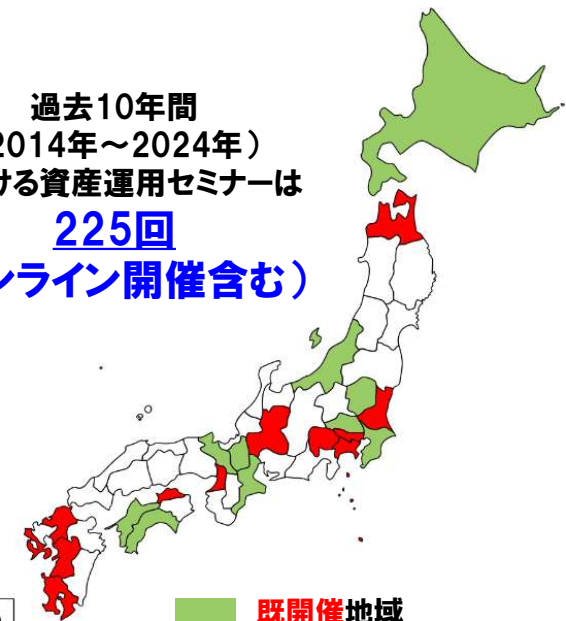
地域金融機関における導入状況

- ・地方銀行 44行
- ・地銀系列/地場証券 6社
- ・信用金庫 24社
- ・労働金庫 1社

合計:75社
(全128社に提供)

地域における実施状況

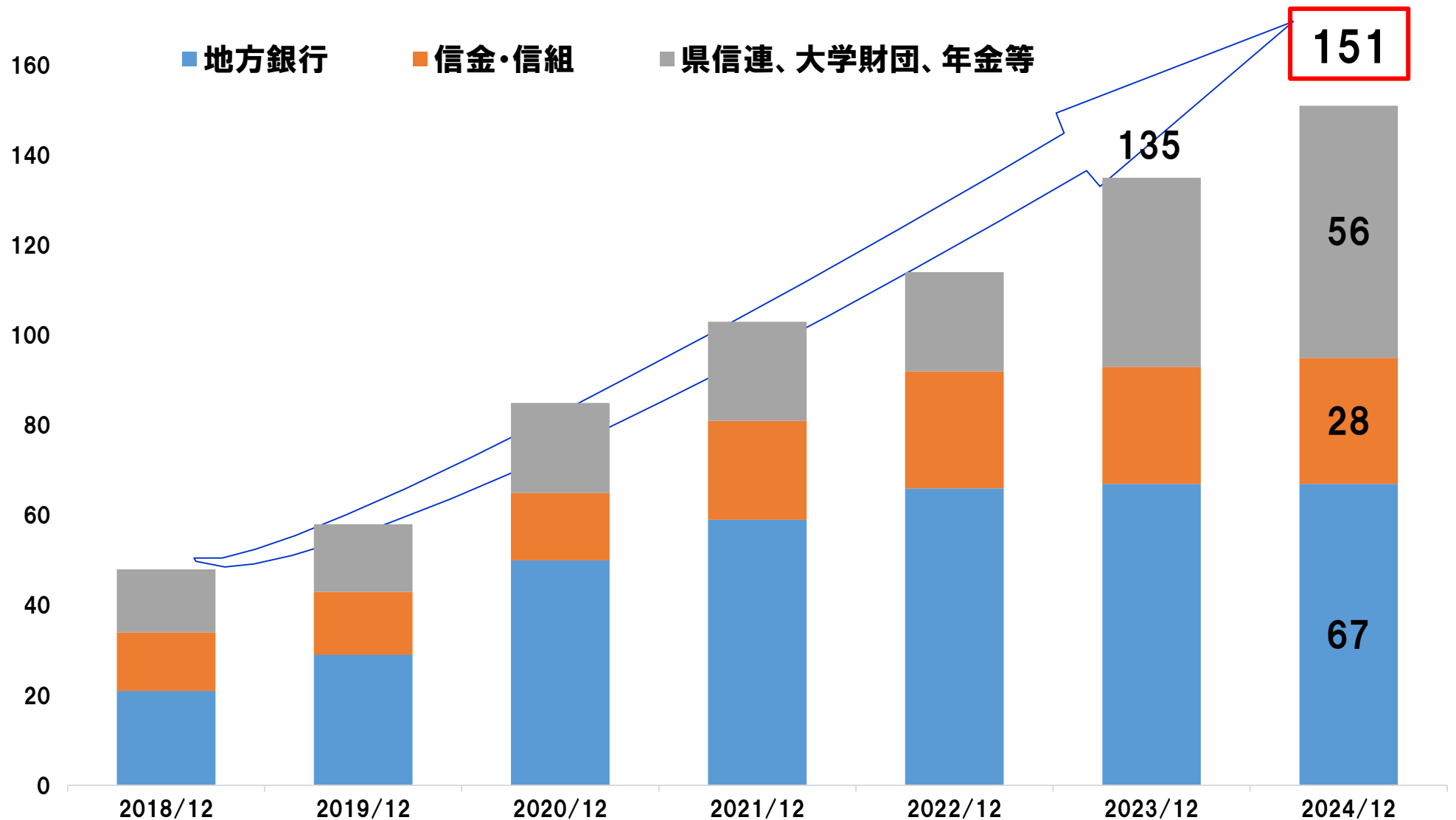
過去10年間
(2014年~2024年)
における資産運用セミナーは
225回
(オンライン開催含む)



■ 既開催地域
■ 今後の開催決定地域

地域金融機関を中心に有価証券運用の受託社数も拡大

受託社数は地域金融機関を中心に延べ151社



主要な「成長投資型」の低コスト商品

投資対象資産	ファンド名	実質コスト 税込(%)
世界株	SBI・全世界株式インデックス・ファンド (雪だるま(全世界株式))	0.10
世界株	SBI 全世界高配当株式ファンド(年1回決算型)	0.055
日本株	SBI・iシェアーズ・日経225インデックス・ファンド	0.113
日本株	SBI・iシェアーズ・TOPIXインデックス・ファンド	0.113
米国株	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	0.0938
米国株	SBI・V・全米株式インデックス・ファンド	0.0938
米国 小型株	SBI・V・米国小型株式インデックス・ファンド	0.1138
先進国株	SBI・先進国株式インデックス・ファンド (雪だるま(先進国株式))	0.0982
先進国株 (除く米国)	SBI・V・先進国株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1138
世界小型株 (除く米国)	SBI・V・世界小型株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1138
新興国株	SBI・V・新興国株式インデックス・ファンド	0.1438
新興国株 (グローバルサウス)	EXE-i グローバルサウス株式ファンド	0.5820
中国株	SBI・中国A株インデックス・ファンド (雪だるま(中国A株))	0.4138
インド株	SBI-フランクリン・テンプルトン・インド株式 インデックス・ファンド	0.2538
サウジアラビア株	SBIサウジアラビア株式インデックス・ファンド	0.1925

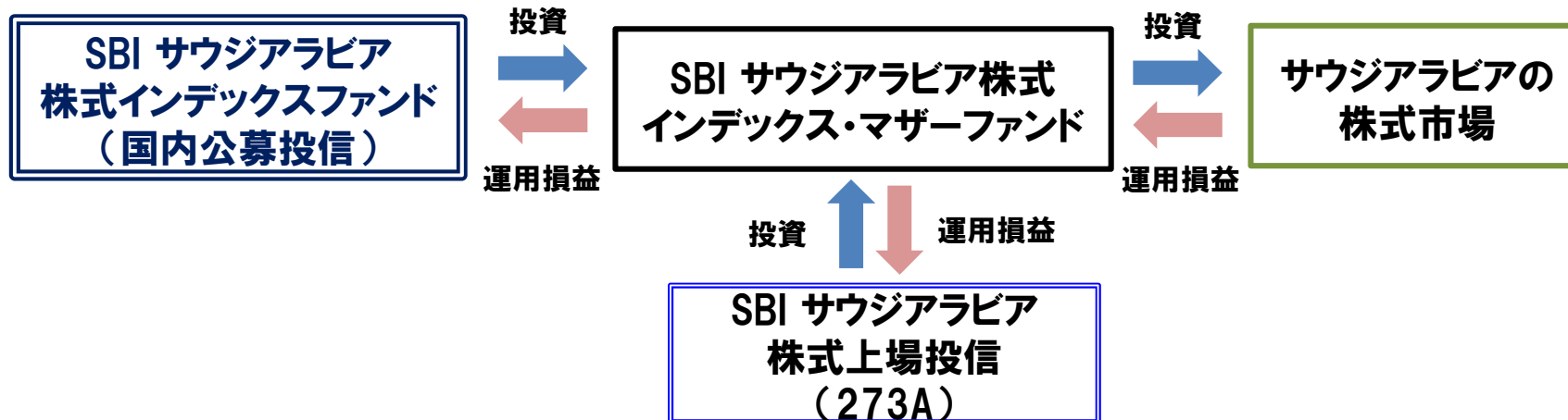
日本初のサウジアラビア株式公募投信の設定・運用

SBI サウジアラビア株式インデックス・ファンド

2025年1月28日設定

新NISA成長投資枠対象・定時定額投資可能・100円からの少額投資可能

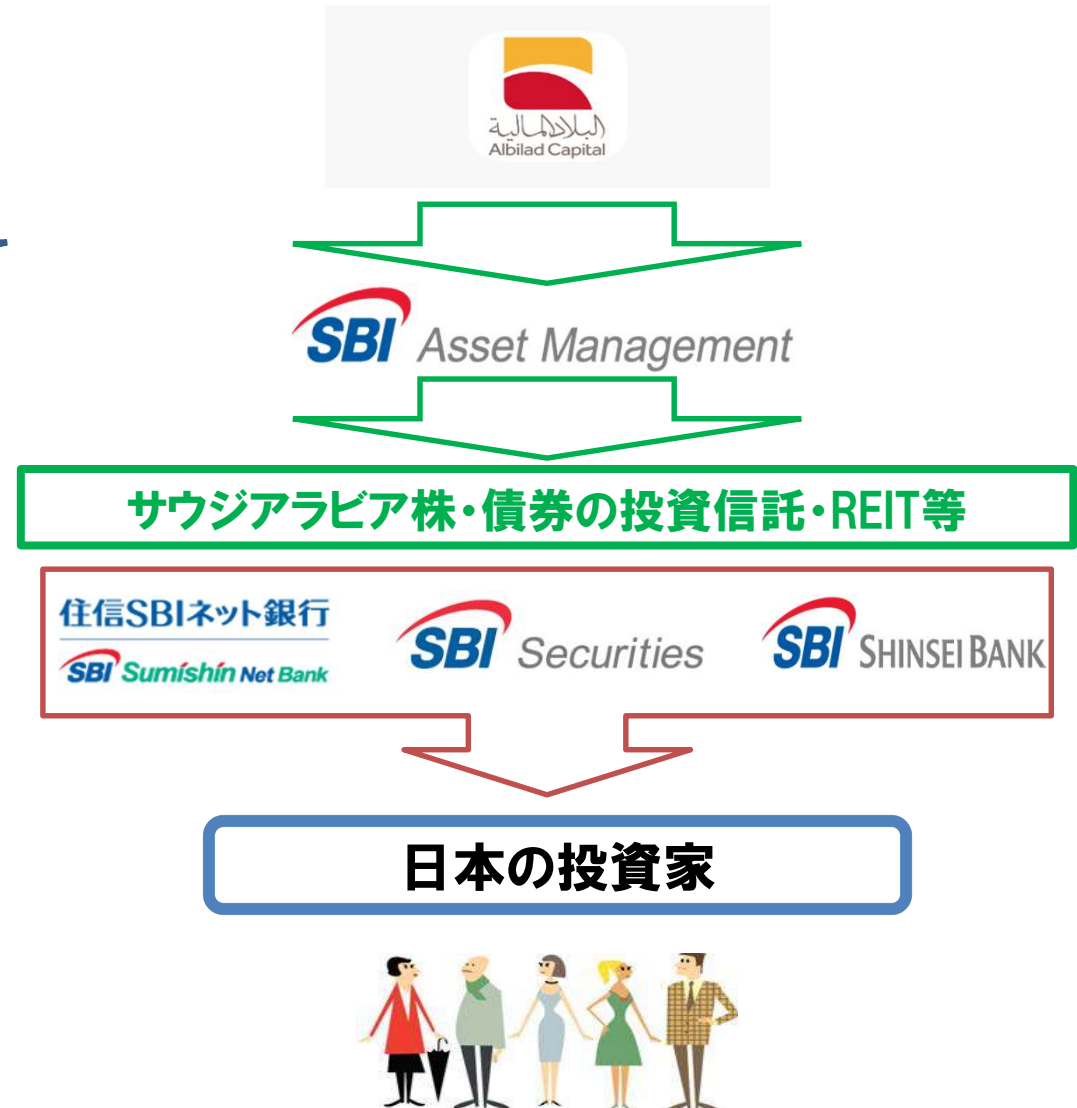
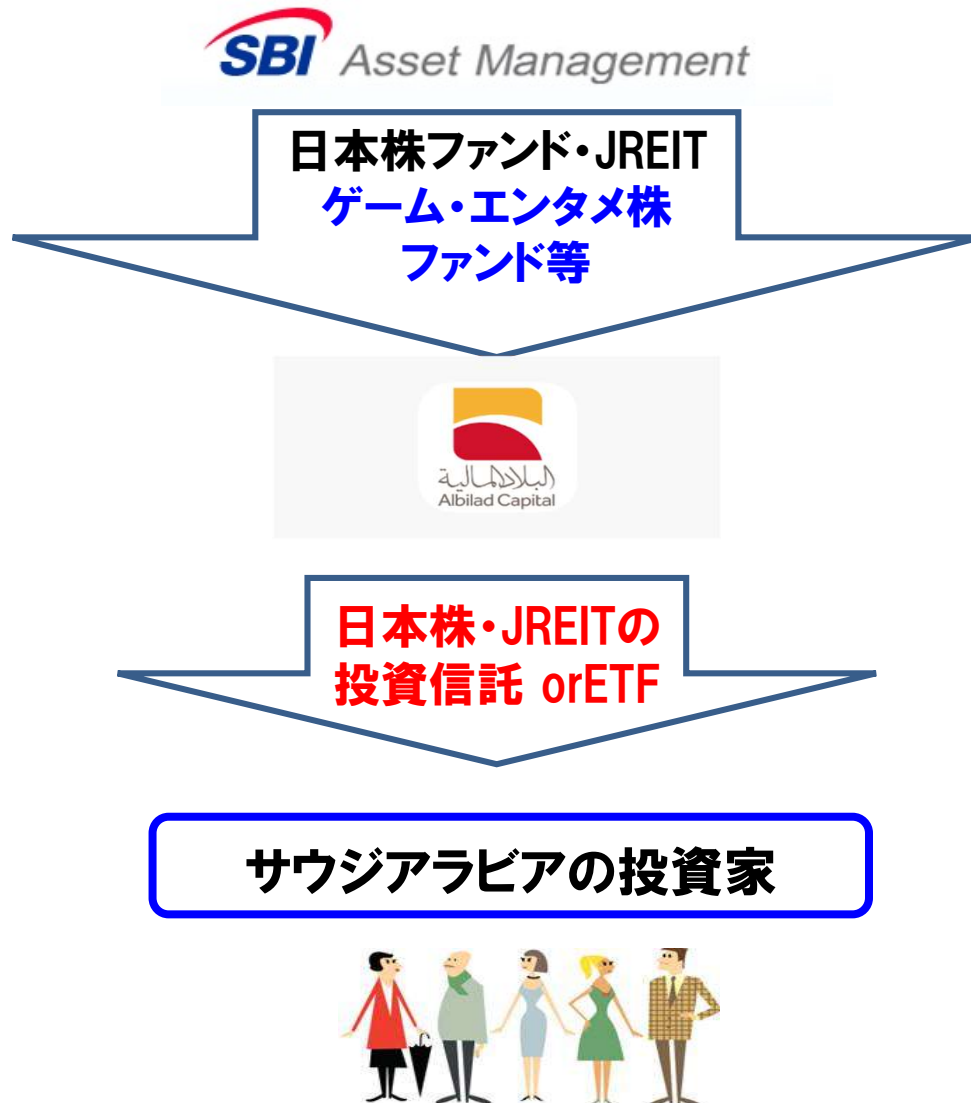
信託報酬:0.1925%(税込)



サウジアラビア大手金融グループ「Albilad Capital」との戦略的業務提携

SBIグループが運用する日本株やJ-REIT等の
資産クラスをサウジアラビアの投資家に提供

Albilad Capitalが運用する様々な
資産クラスの商品を日本の投資家に提供



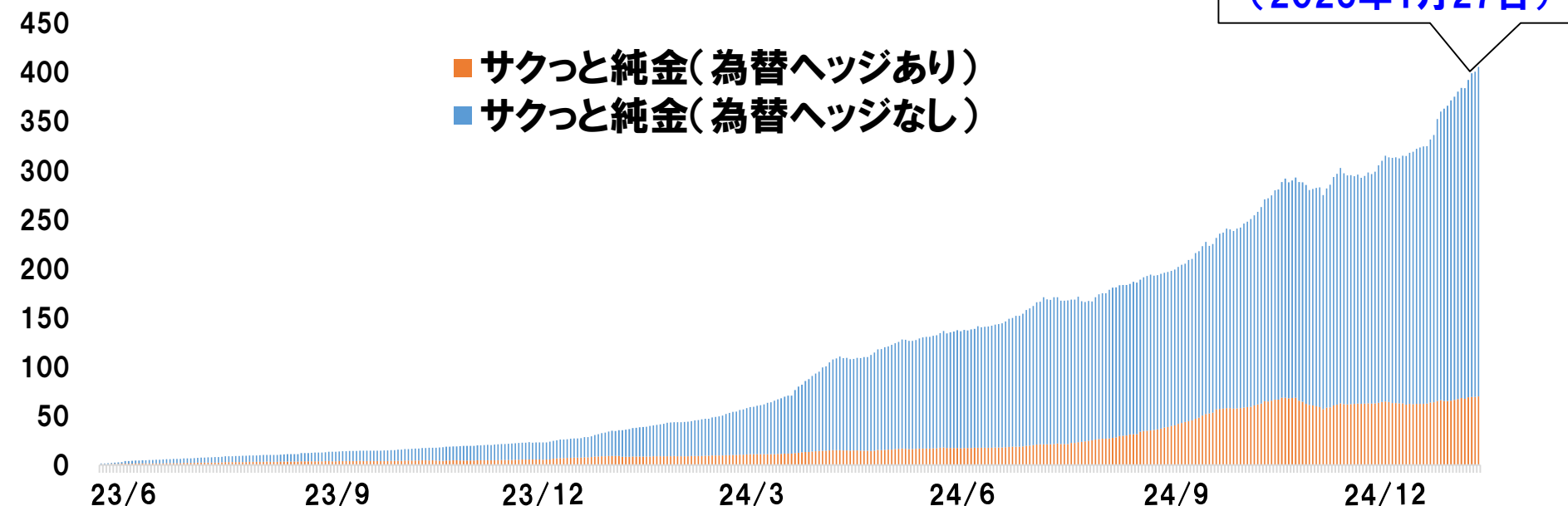
SBI・iシェアーズ・ゴールドファンドの純資産残高の推移

信託報酬:0.1838%は同種同等ファンドの中で最安

ファンド名	運用会社	純資産残高増加率 (2023年12月末比)
SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド (為替ヘッジあり・為替ヘッジなし)	SBIアセット	14.3倍
三菱UFJ純金ファンド	三菱UFJ	2.1倍

ファンド設定日(2023年6月8日)からの残高推移

(億円)

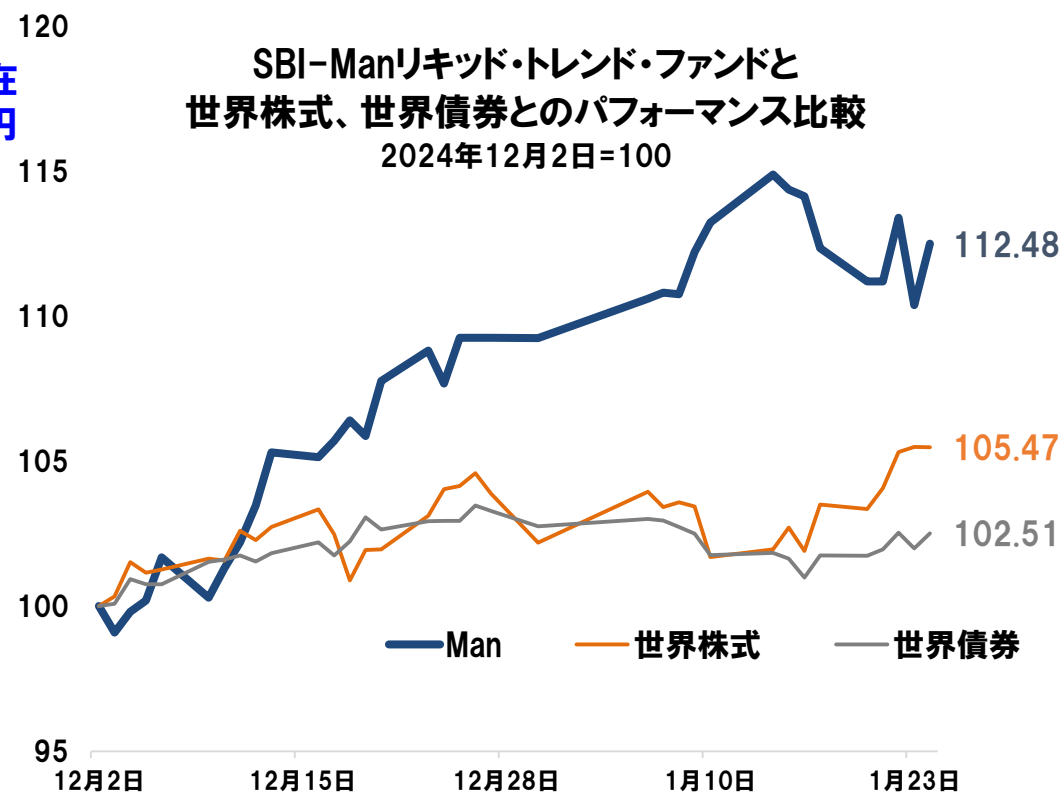
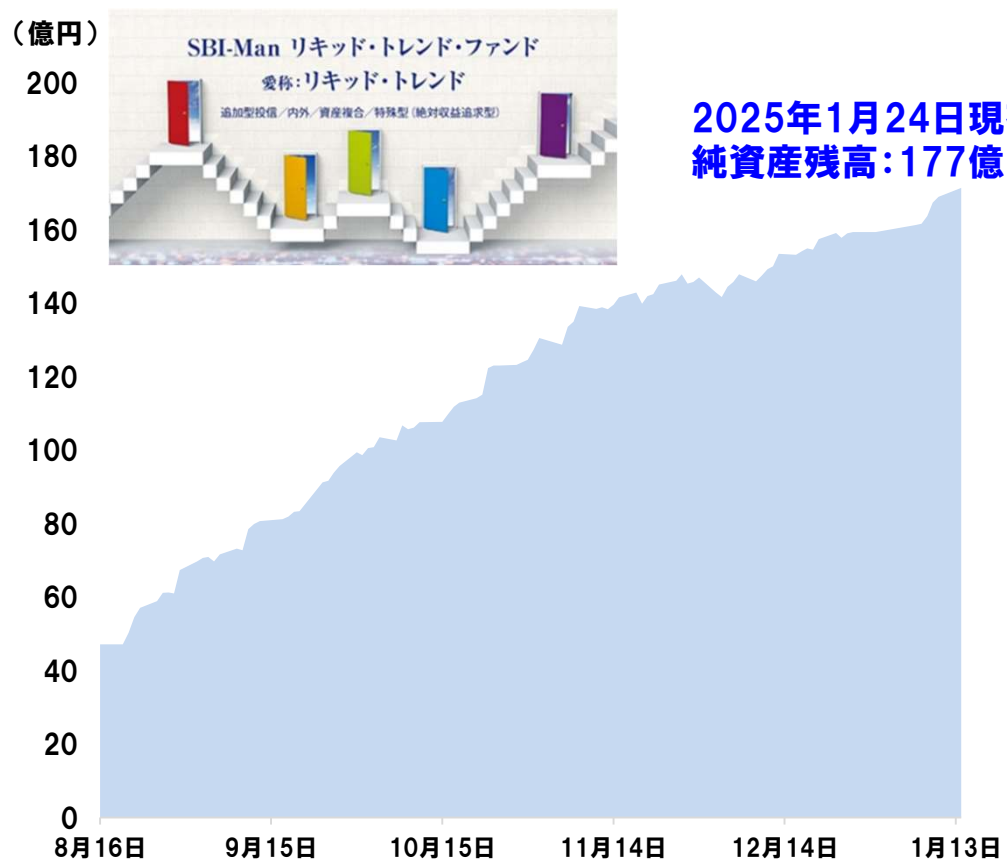


「SBI-Man リキッド・トレンド・ファンド」の純資産残高は順調に拡大し、パフォーマンスも好調に推移

- 世界最大級のオルタナティブ運用会社の英国マン・グループが実質的に運用
- マルチストラテジー型オルタナティブ戦略ファンドでは最安コスト

＜信託報酬は0.998%(税込み)、成功報酬なし＞

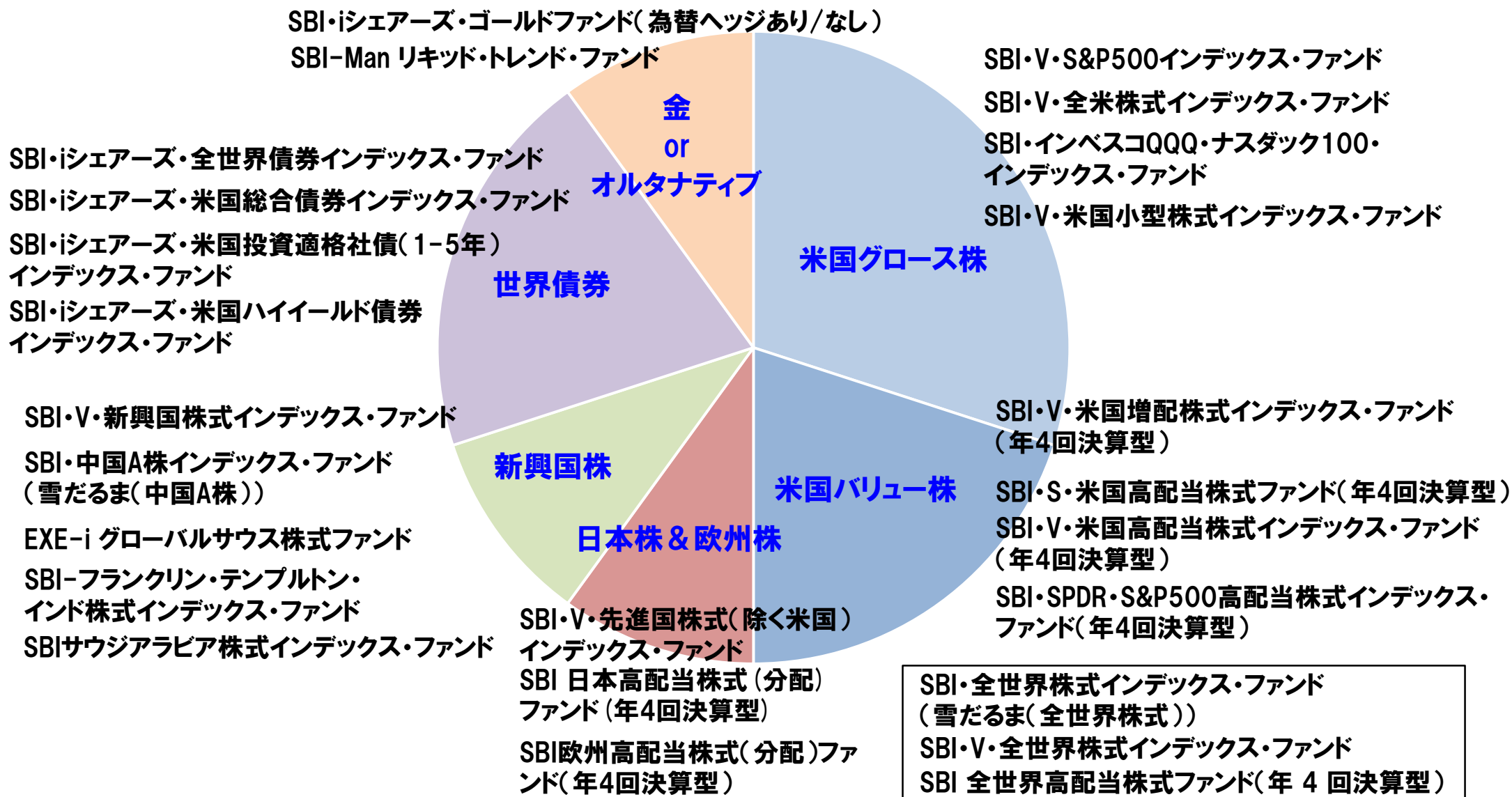
- 当初設定金額47.2億円は、同種同等のファンドにおいて過去10年間で最大規模



※ 設定来(2024年8月16日~2025年1月24日)の純資産総額推移

出所: BLOOMBERG、世界株式=MSCI世界株式指数(トータルリターン、円換算)、世界債券=FTSE世界債券指数(円換算)、期間:2024年12月2日~2025年1月24日

良質かつ低コストの多様な資産クラスの商品を提供し、 投資家一人一人の最適なポートフォリオの構築に貢献

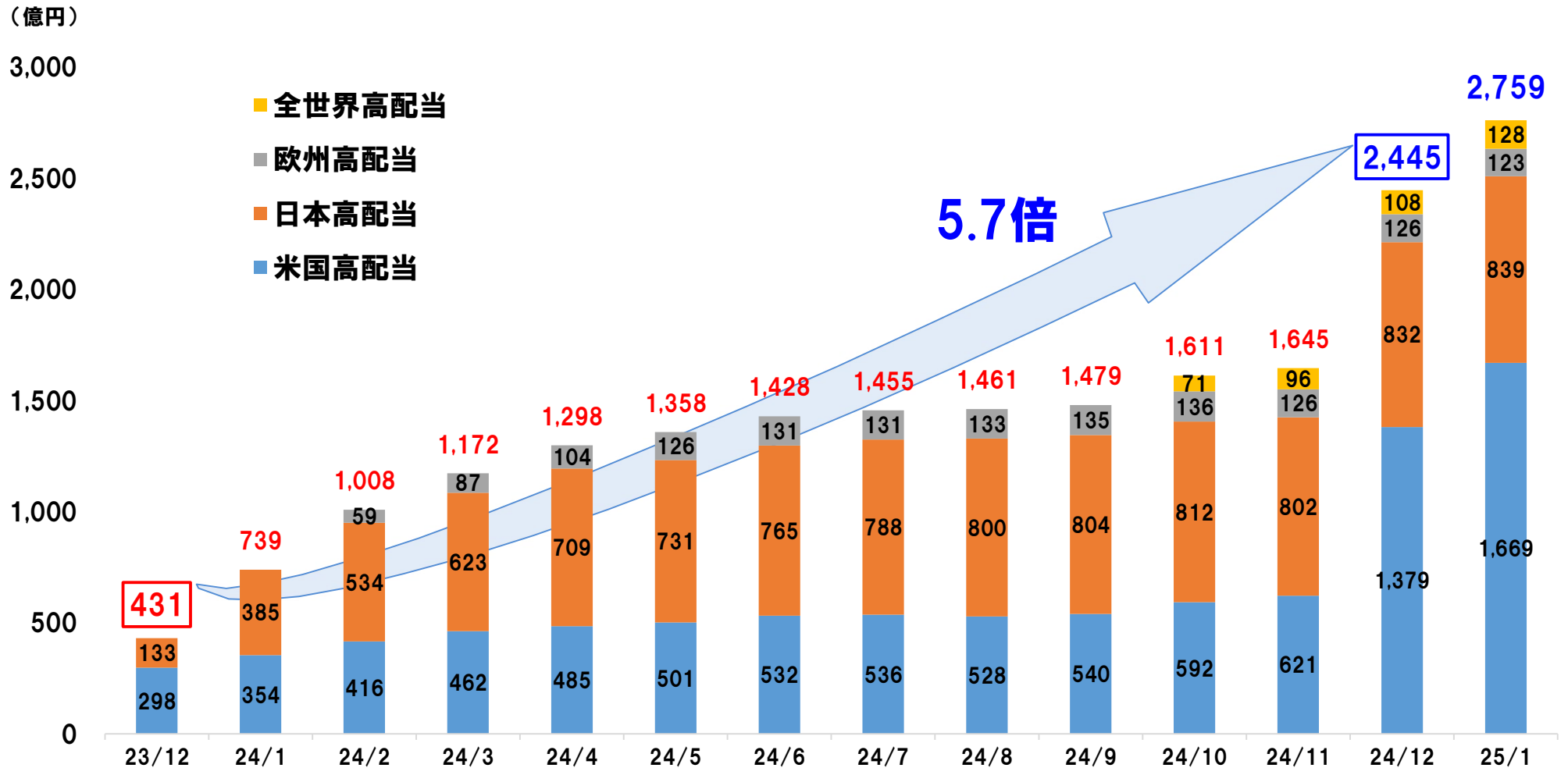


主要な「成長 & 分配型投資」の低コスト商品

資産クラス	投資対象資産	ファンド名	信託報酬等 税込み (%)	決算月
株式	日本株	SBI 日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)	0.099	1月、4月、7月、10月
	米国株	SBI・V・米国高配当株式インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1238	2月、5月、8月、11月
	米国株	SBI・V・米国増配株式インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1238	2月、5月、8月、11月
	米国株	SBI・SPDR・S&P500高配当株式インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1338	2月、5月、8月、11月
	米国株	SBI・S・米国高配当株式ファンド(年4回決算型)	0.1238	3月、6月、9月、12月
	欧州株	SBI欧州高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)	0.099	3月、6月、9月、12月
	全世界株	SBI 全世界高配当株式ファンド(年4回決算型)	0.055	2月、5月、8月、11月
債券	日本債	SBI日本国債(分配)ファンド(年4回決算型)	0.099	1月、4月、7月、10月
	米国債券	SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.0938	3月、6月、9月、12月
	米国社債	SBI・iシェアーズ・米国投資適格社債(1-5年)インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1038	3月、6月、9月、12月
	米国 ハイイールド債	SBI・iシェアーズ・米国ハイイールド債券インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1438	3月、6月、9月、12月
	全世界債	SBI・iシェアーズ・全世界債券インデックス・ファンド(年4回決算型)	0.1098	3月、6月、9月、12月
リート	日本REIT	SBI・J-REIT(分配)ファンド(年4回決算型)	0.099	2月、5月、8月、11月

拡大するSBIアセットの「高配当株式ファンド」

「高配当株式ファンド」の純資産残高は、前年同期末比で5.7倍の拡大



※ 「米国高配当株式」は、「SBI・S・米国高配当株式100(年4回)」、「SBI・V・米国高配当株式(年1回)」、「SBI・V・米国高配当株式(年4回)」、「SBI・V・米国増配株式(年1回)」、「SBI・V・米国増配株式(年4回)」、「SBI・SPDR・S&P500高配当株式(年4回)」の6ファンド合計。

※ 「全世界高配当株」は、「SBI全世界高配当株式ファンド(年1回)」、「SBI全世界高配当株式ファンド(年4回)」の2ファンド合計。

定期的に分配金を受け取りながら分散投資も可能

<3月・6月・9月・12月>

SBI 欧州高配当株式
(分配)ファンド

SBI・iシェアーズ・米国総合債券
インデックス・ファンド

SBI・iシェアーズ・全世界債券
インデックス・ファンド

SBI・S・米国高配当株式
ファンド

<1月・4月・7月・10月>

SBI 日本高配当株式(分配)ファンド
SBI 日本国債(分配)ファンド

<2月・5月・8月・11月>

SBI 全世界高配当
株式ファンド

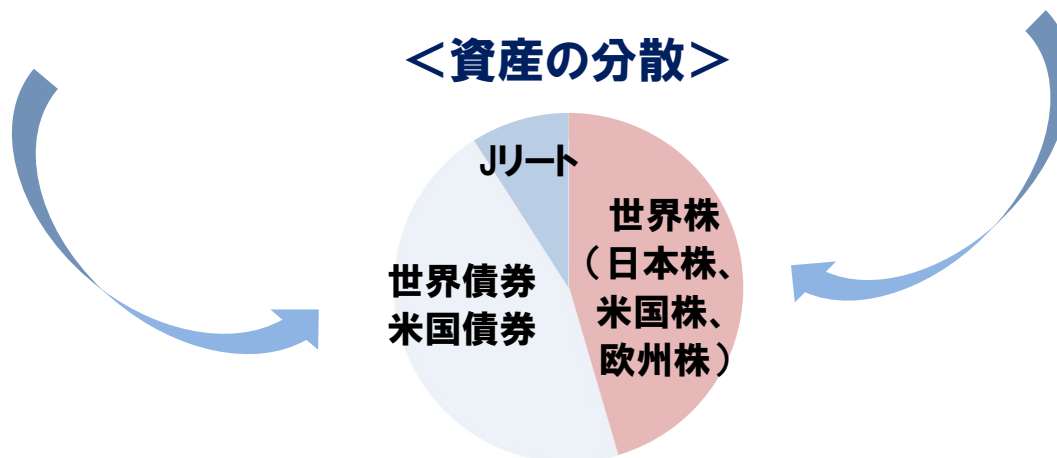
SBI・V・米国高配当株式
インデックス・ファンド

SBI・V・米国増配株式
インデックス・ファンド

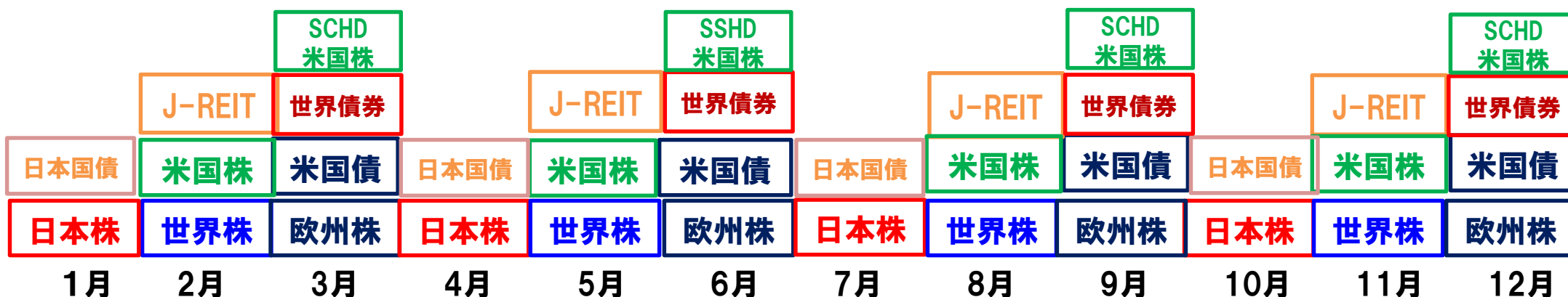
SBI・SPDR・S&P500
高配当株式
インデックス・ファンド

SBI・J-REIT(分配)ファンド

<資産の分散>



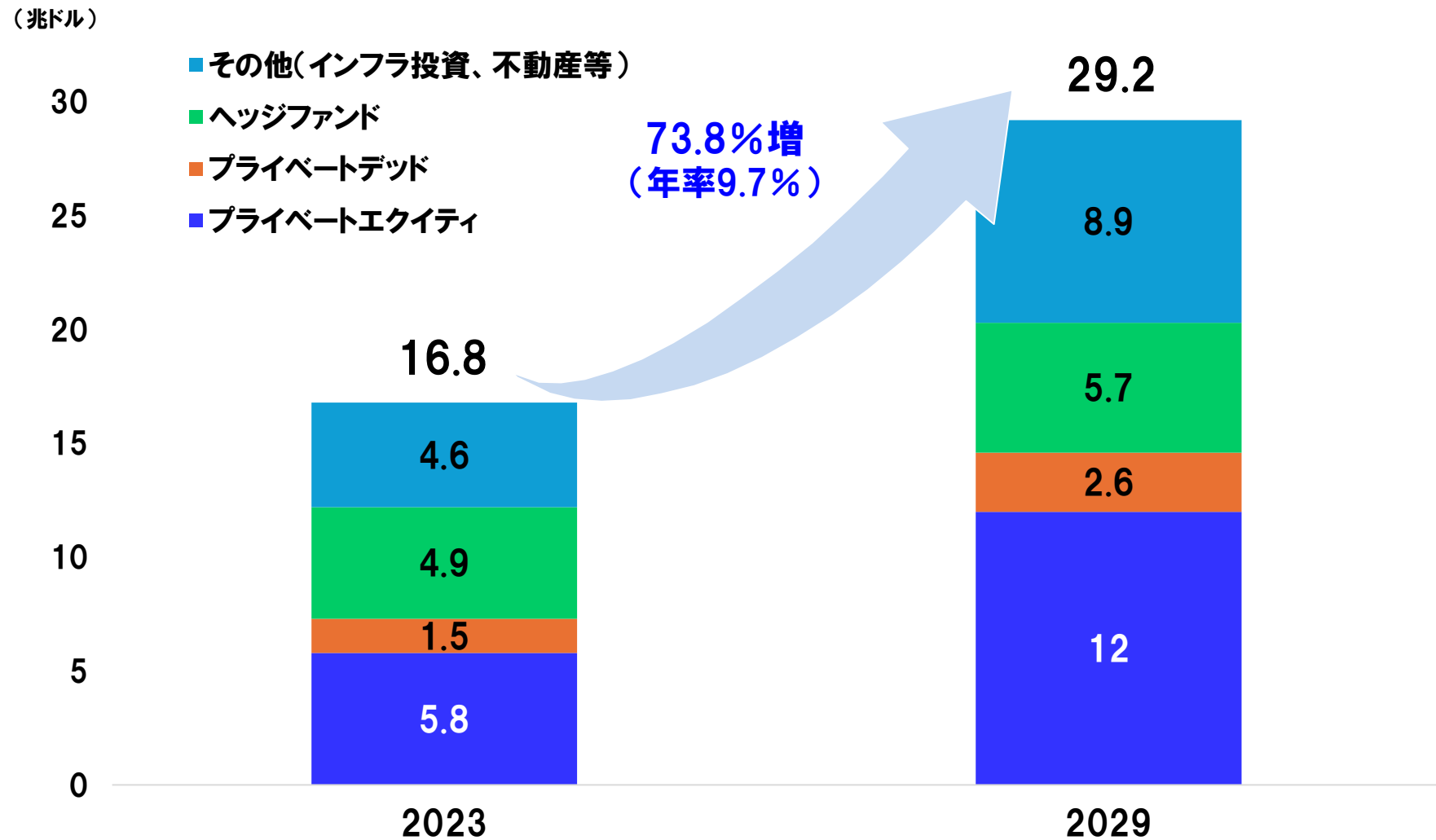
<分配金受取の分散>



オルタナティブ投資・デジタル資産による 高付加価値運用

「高付加価値 α (アルファ) の創出」に向け、
オルタナティブ投資への展開と、暗号資産・トークン化市場の開拓

世界の「オルタナティブ」資産は大幅に拡大する



「オルタナティブ投資商品」の提供で新しい投資機会の提供

SBIグループは「オルタナティブ投資」において戦略的なJV(合併会社)を設立



グローバルなオルタナティブ運用大手2社と
合併会社設立

暗号資産運用にも積極的な
グローバル運用会社大手と合併会社設立

Man Group plc
「マン・グループ」

KKR & Co. Inc.
「KKR」

Franklin Templeton Group companies
「フランクリン・テンプルトン・グループ」

トレンドフォロー戦略

プライベート・エクイティ

暗号資産

*当局認可を前提とする

ロング/ショート戦略

プライベート・デット

セキュリティ・トークン

個人投資家 & 機関投資家にオルタナティブ商品の提供開始



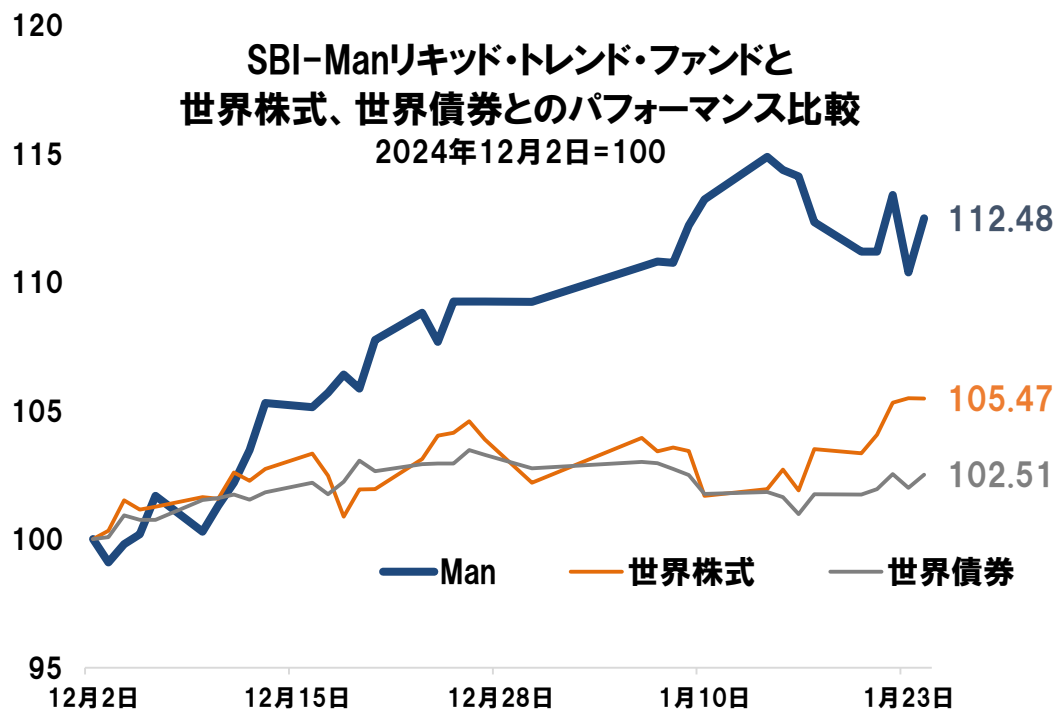
AHLクオンツマルチアセット
「リキッド・トレンド」

- マンAHLの伝統を受け継ぐトレンド・フォロー戦略、伝統資産との低い相関
- 市場の大幅下落局面でも収益を獲得



プライベート・デット
「KKRインカムトラスト」

- インカム重視の投資家向けに、グローバルのプライベート・デットの投資機会を提供
- ダイレクトレンディングとアセット・ベースド・ファイナンスを対象に分散投資



KKRインカム・ トラスト トータルリターン	2024年5月1日 ~11月30日	12.34%(年率)
------------------------------	----------------------	------------

「暗号資産を国民経済に資する資産とするための緊急提言」

自民党・政調審議会が承認(2024年12月19日)

<1. 暗号資産取引を申告分離課税の対象への主な項目>

- ① 課税方法を雑所得(最大55%)から申告分離課税(20%)の対象へ
- ② 損失の繰越控除を認める(翌年以降3年間)
- ③ 暗号資産デリバティブ取引も申告分離課税(20%)の対象へ

<2. 規制枠組みの見直しの主な項目>

- ① 暗号資産の金融商品化とETF検討
- ② ブロックチェーンを基盤技術とするWeb3のイノベーションを阻害しない規制設計

「暗号資産」組み入れファンドの意義と有効性

- 1) 米国をはじめ海外では暗号資産を投資対象としたETFが順次導入され、暗号資産を投資対象資産に位置付ける動きが拡大。
- 2) 暗号資産は株式や債券等との相関性が低く分散投資の手段として最適。
- 3) 当社は、2019年9月から暗号資産のXRPを株主優待として提供しており、その提供目的は「価格変動と資産分散の有効性の体感」。
- 4) 政府は投資家に「貯蓄から投資」を促すなか、「オルタナティブ資産」への取り組みも推進。
- 5) 暗号資産は、オルタナティブ資産の一つとして位置づけることが出来、投資家がより分散効果の高いポートフォリオを構築するのに有効な資産。

「My仮想通貨」アプリ上に暗号資産ETFの情報提供

米国ではビットコインのETFとイーサリアムのETFは上場済みで、
XRPのETFは4社が既に上場申請済み

My仮想通貨アプリ画面

通貨	価格	前日比24H
BTC / JPY Bitcoin : average	¥ 14,575,359.49	- 2.86 %
ETH / JPY Ethereum : average	¥ 530,461.44	+ 3.10 %
XRP / JPY XRP : average	¥ 222.96	+ 4.32 %
BCH / JPY Bitcoin Cash : average	¥ 77,391.84	- 0.44 %
LTC / JPY Litecoin : average	¥ 14,593.81	- 0.59 %
XEM / JPY NEM : average	¥ 4.23	+ 8.60 %
LSK / JPY Lisk : average	¥ 186.55	+ 3.14 %
ETC / JPY Ethereum Classic : average	¥ 4,649.27	+ 6.65 %

暗号資産ETF

米国上場の暗号資産ETFの価格、運用残高、乖離率等の表示

ティッカー	Fund Name	価格	AUM	時価総額	乖離率	タイプ
GBTC BTC	Grayscale Bitcoin Trust ETF	¥11,604.74	¥3.18T	¥3.18T	+0.09%	Spot
BITO BTC	ProShares Bitcoin ETF	¥3,920.56	¥92.13B	¥426.28B	+0.06%	Futures
IBIT BTC	iShares Bitcoin Trust	¥8,311.96	¥2.65T	¥7.12T	-0.05%	Spot
FBTC BTC	Fidelity Wise Origin Bitcoin Fund	¥12,766.44	¥1.52T	¥2.86T	+0.08%	Spot
BITB BTC	Bitwise Bitcoin ETF	¥7,954.98	¥332.09B	¥586.92B	-0.03%	Spot
ARKB BTC	ARK 21Shares Bitcoin ETF	¥14,571.32	¥438.82B	¥728.8B	-0.09%	Spot
HODL BTC	VanEck Bitcoin ETF	¥16,510.05	¥81.5B	¥195.22B	-0.02%	Spot
EZBC BTC	Franklin Bitcoin ETF	¥8,459.67	¥48.01B	¥114.23B	-0.09%	Spot
BTCO BTC	Invesco Galaxy Bitcoin ETF	¥14,597.47	¥58.99B	¥131.52B	+0.22%	Spot

**持続的な成長をベースに、配当 & 株主優待を
含め、トータルな株主還元の上を目指す**

通期の株主配当は15期連続の増配を継続中

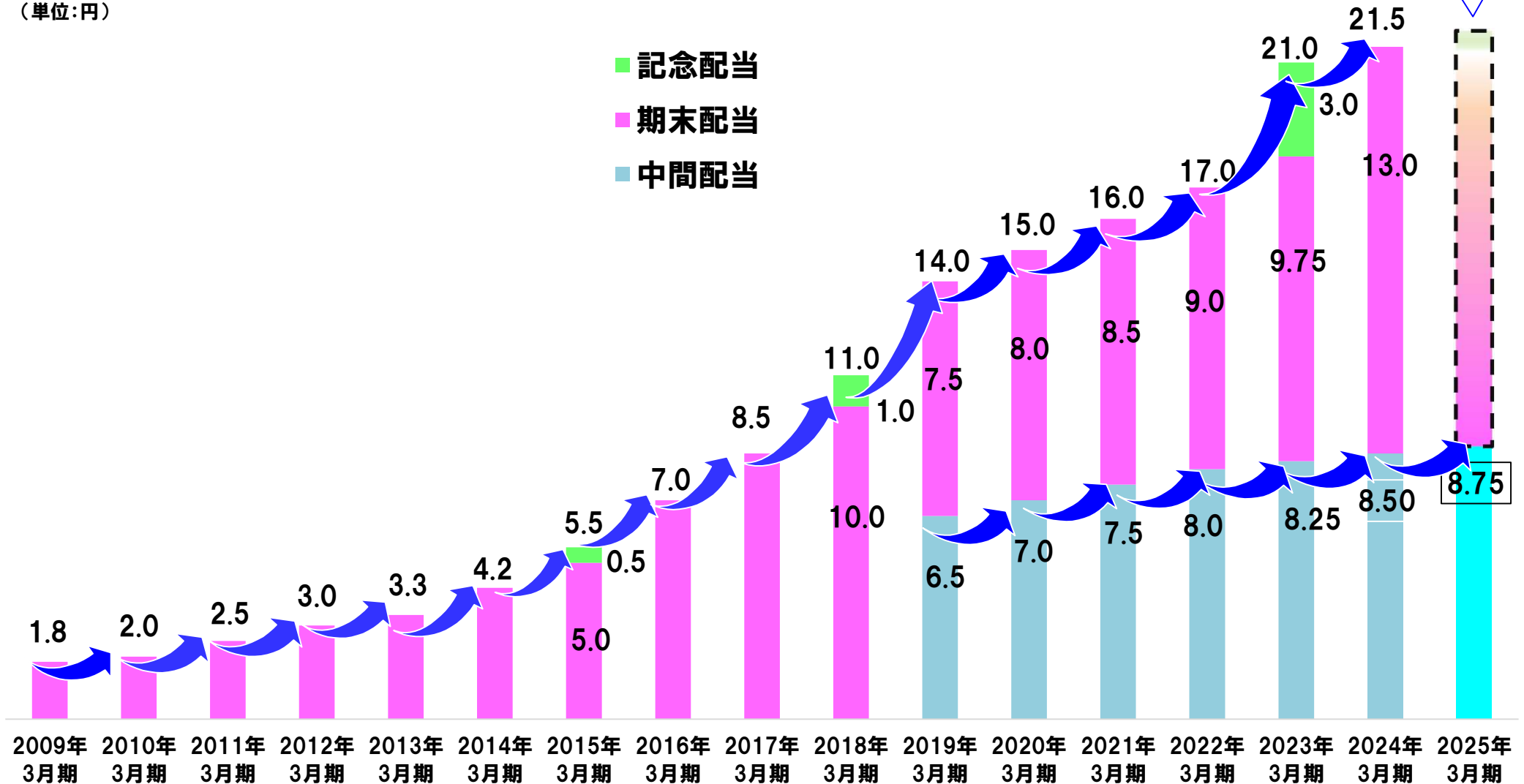
2025年3月期増配の場合は16期連続の増配となる

中間配当は2019年3月期の開始以来6期連続の増配

2025年3月期末

(単位:円)

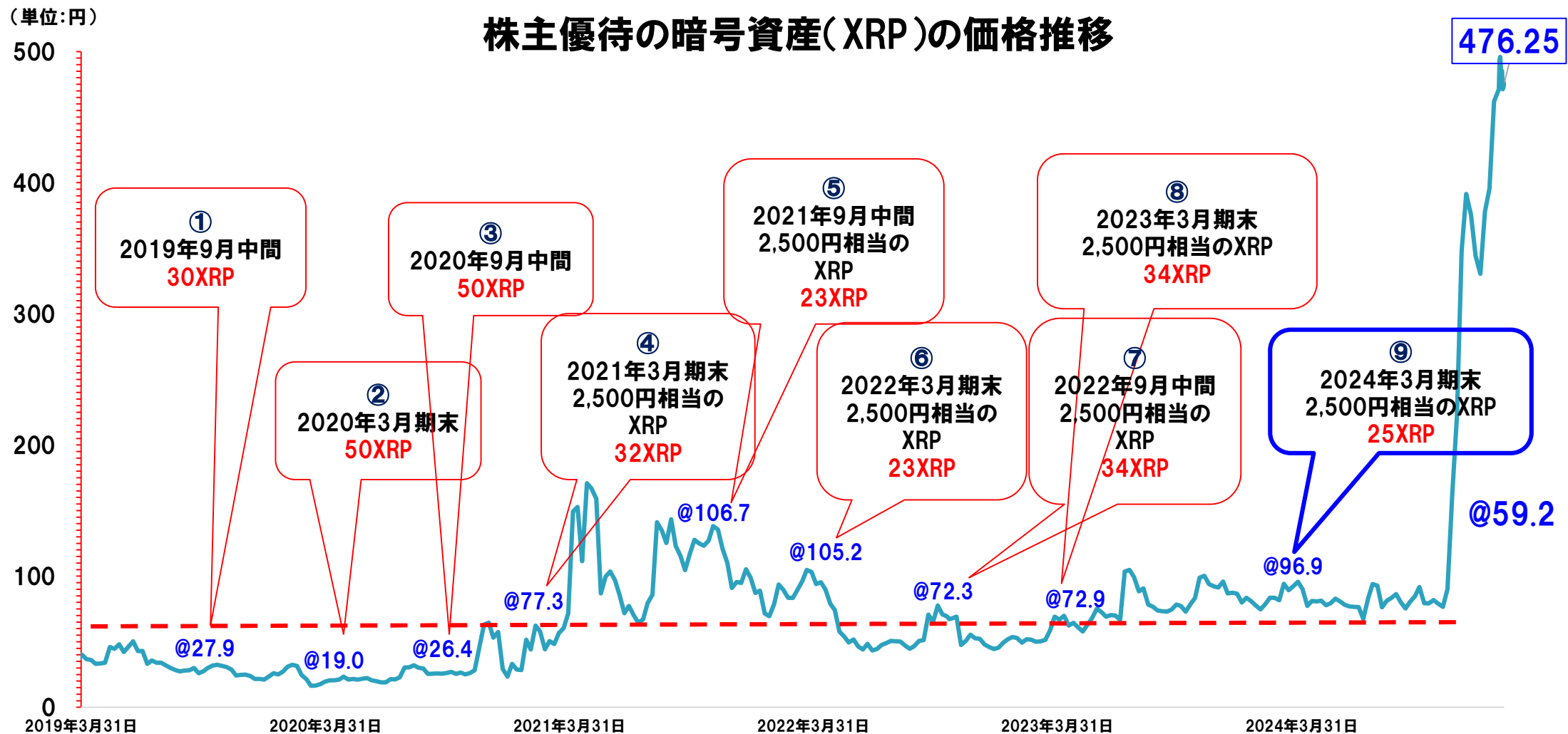
- 記念配当
- 期末配当
- 中間配当



※ 2015年3月期の記念配当は上場15周年記念配当、2018年3月期の記念配当は設立20周年記念配当、2023年3月期の特別・記念配当はブランド売却益の特別利益 & 設立25周年記念配当

株主優待(XRP)の取得平均単価に対する時価は8倍超

2019年9月末(中間期)から9回の合計301XRPを提供
 9回の加重平均単価は59.2円 < 時価は476.25円 (8倍)
 (2025年1月28日現在)



※基準日ごとに1単元以上5単元未満を保有されていた場合